

第七十三回
帝國議會
貴族院

國家總動員法案特別委員會議事速記録第四號

昭和十三年三月二十二日(火曜日)午前十一時十七分開會

○委員長(子爵渡邊千冬君) 開會致シマス、

山隈君ニ御發言ヲ願ヒマス

○山隈康君 内務大臣ニ御伺ヒシタイト思ヒマス、御尋ヲ申上ゲマスル事柄ハ各委員會ニ既ニ論議セラレタ問題ダトハ存ジマスルガ、極メテ重要ノ事柄ダト思ヒマスルカラ、更ニ御尋ネ致シマス、國家總動員法ハ劃期的ノ大法典デアリマシテ、之ヲ施行スルニ當リマシテハ、國家全體ノ各機關ノ一致協力ヲ俟ツベキモノデアルト云フコトハ言フ迄モナイコトデアルト存ズルノデアリマス、而シテ官吏制度、議會制度ノ改革ハ勿論、更ニ國家ノ根柢ヲ成シマスル地方自治ノ基礎ヲ固メマシテ、全國民ノ愛國ノ至誠ガ此ノ法律ト渾然融和ヲ致シマシテ、其ノ間何等ノ強制ヲ俟タズシテ、本法ノ運用ニ遺憾ナキヲ期スルコトハ極メテ重要ノ事柄デアルト存ズルノデアリマス、然ルニ近時此ノ地方自治ノ狀態ヲ見マスレバ、誠ニ寒心ニ堪ヘナイモノガアリマス、國家ノ基礎デアリ自治ノ根柢ニハ白蟻ガ巢ヲ作ッテ居ルト云フ狀態デアリマシテ、此ノ儘ニ放任ヲ致

シマスレバ、或ハ自然崩壊ノ途ヲ辿ルノ外ハナイト存ズルノデアリマス、從ッテ國家總動員ノ實施運用ニ際シマシテハ、大イナル支障ヲ來スノ虞ガアルコトヲ心配ヲスルノデアリマス、而シテ地方自治ノ腐敗ヲ來シマシタ最大ノ原因ハ、地方議會ノ現在ニ於ケル選舉制度ニ基因スルモノデアルト存ズルノデアリマシテ、現今ノ地方議會ニ於ケル選舉制度ノ實施以來、議員ノ素質ガ益々低下ヲ致シマシテ、是等議員ノ候補ニ立ッテ選舉ヲ爭ヒマスル者ハ、所謂地方ノ有志家即チ小政治家デアリマシテ、一定ノ職業ヲ有セズ、又恆産ガナイ、唯各方面ヲ巧ミニ泳ギ廻リマシテ生活ヲ營ム、斯ウ云フ人ガ大體多數ヲ占メテ居ルヤウデアリマス、是等ノ人々ハ辯說ニ巧ミデアリマス、又煽動ニ長ジテ居リマス、選舉違反ヲ恐レズ、落選ヲ餘リ不名譽トハ考ヘテ居ナイ、而モ是等ノ者ハ政黨ノ院外團ト致シマシテ、又ハ選舉「ブローカー」トシテ、選舉競争ニハ相當ノ經驗ガアル者デアリマス、從ッテ是迄選舉ニ經驗ガナク、又選舉違反ニ觸レルコトヲ極度ニ心配ヲシ、必ズシモ辯舌ニ長ジテナイ、若シ落選ヲ致シマスレバ自分ノ營業、商取

引、其ノ信用ニ影響スル、斯ウ云フコトヲ恐レマスル、地方ノ産業、商業、農業、是等ノ中心トナッテ居ル人格、識見ノアル人々ガ、今申述ベマスル如キ者ト選舉ヲ爭ヒ、又ソレ等ト伍シテ市政ヲ論ズルコトヲ潔シトシナイ、段々是等ノ中心人物ガ自治制カラ遠ザカテ居ルノガ現在ノ狀態デアリマス、是等ノ人々ノ手ニ依リマシテ掌握サレマシタル市町村政ハ、議員ガ自分ノ打算若シクハ選舉人タル大衆ニ迎合致シマシテ市町村政ヲ左右スル傾向ガ順次濃厚ニ相成リマシタ、近來ノ狀況カラ致シマスレバ、地方自治ハ自然墮落ノ一途ヲ辿ルノ外ハナイ狀態デアリマス、殊ニ此ノ現在ノ制度ニ於キマシテハ、市町村長ハ地方議會ニ對シテ解散權ヲ持タナイ、故ニ市町村長ガ自分ノ所信ヲ立テマシテ自治制ノ上ニ表現ヲセムトスル場合ニ於テハ、尠クトモ議員ニ迎合シ、議員ノ歡心ヲ買ハナケレバ自治制ノ運用ガ出來ナイ、デ議員ハ是等ノ當局ノ弱點ニ乘ジマシテ種々色々ナ要求ヲ爲ス、現ニ問題トナッテ居リマスル議員ノ大名旅行ノ如キ、其ノ他之ニ類スル弊害ガ近時頻出ヲ致シマシテ、市町村政ノ行政ノ衝ニ當ル者

及此ノ自治ノ人々ハ自治制ニ對シ尠カラザル懸念ト心配ヲ懷イテ居ルノデアリマス、デ此ノ地方自治ノ墮落腐敗ノ根源ハ現在ニ於ケル選舉制度ノ缺陷カラ來タノデアリマスカラ、此ノ地方制度ニ於ケル選舉制度ノ改正、是ガ最モ自治ノ興隆ヲ圖ルニ極メテ緊要ノ事柄ト存ズルノデアリマス、其ノ選舉制度ハ或ハ從來ノ如キ級別選舉ニスルカ、或ハ職能代表ニスルカ、其ノ他何等カノ方法、必ズシモ級別選舉ニ限ルモノデモナク、又職能代表制ニ限ルモノデモナク、各階級カラ代表ヲ出シマシテ、市町村民ノ總意ガ市町村政ノ上ニ反映ヲスル、サウシテ眞ニ國民ノ全體ガ自治ノ精神、自ラ自分ヲ治メルト云フ此ノ精神ヲ發揮スルト云フコトガ、今日ノ地方自治ノ墮落ヲ救フ唯一ノ方法デハナイカト思フノデアリマス、是等ノ制度ノ選舉法ノ改正ニ付キマシテハ今デハ殆ド全國ノ輿論トナッテ居ルヤウデアリマス、全國ニ於ケル市長會議、全國ニ於ケル市會議長會議、全國ニ於ケル町村長會議ニ於キマシテハ、選舉制度ノ改正ニ對シテ再三ノ決議ヲ經マシテ内務省等ニモ上申ヲシテアルノデアリマス、又帝國議會ニ

於キマシテモ本會議或ハ豫算會議、其ノ他ノ特別委員會等ニ於キマシテ、地方自治ノ墮落ヲ救ヒ、其ノ爲ニ選舉法ノ改正ヲ絶叫シタルコトハ再三ニ止ラヌト存ズルノデアリマス、之ニ對シテ政府當局ノ御答辯ヲ拜聽致シマスレバ、ソレハ現今著手シテ居ル地方制度ノ改正ト共ニ選舉法ニ對シテモ研究ヲシタイ、此ノ御答辯ガ何カオ座ナリノ一片ノ御挨拶ニ過ギナイカト云フ懸念ガアリマス、眞ニ此ノ選舉法ヲ改正スル御決斷ガアルカナイカト云フコトニ對シテ私共ハ尠カラザル疑ヲ懷イテ居ルノデアリマス、政府ニ於カレマシテモ地方自治ノ墮落腐敗ト云フコトヲ御認識ニハナッテ居ルト思ヒマス、但シ現在大衆政治ト云フヤウナコト、

此ノ時ノ流れニ逆行ラシテ現在ノ制度ヲ級別選舉其ノ他ノ選舉制度ニ改正スルト云フコトハ、其處ニ何等カノ躊躇ノ色ガアリハシナイカ、弊ヲ認メ制度ノ改正ノ必要ヲ痛感シナガラ、此ノ時流ニ立ッテ制度ノ改革ニ對シテ御躊躇ガオアリデハナイカト思フノデアリマス、先刻申述ベマスル如ク、國家總動員法ハ劃期的ノ大法典デアッテ、是ハ唯法律ノ施行ニ依ッテ此ノ目的ヲ達シ得ベキモノニアラズ、國民全體ノ總動員ノ精神ガ融合混和致シマシテ此ノ法典ノ大精神、大使命

ノ完成ニ努メナクチャナラヌト思フノデアリマス、而モ現内閣ニ於カレマシテ革新政策ヲ旗印トシテ諸般ノ問題ニ對シテ改正ヲ唱ヘラレル此ノ際ニ於テ、總動員ノ計畫ノ實施ヲ完成スル爲ニ各般ノ制度ノ改善ニ對シテ一大御決心ヲ切望スルト共ニ、更ニ最も重要ナル地方制度中選舉法ノ改正ニ關シテ眞ニ心カラ改正ヲスル……オ座ナリデナク……御決心ガアルカ否カト云フコトヲ承リタイト存ジマス

○國務大臣(末次信正君) 國家總動員法ノ

徹底ヲ期スル爲ニハ、一般政治ノ改善ト共ニ地方政治ノ改善ニ俟タナケレバナラナイ、其ノ協力ニ俟タズンバ總動員法ノ完全ナル施行ヲ所期シ難イト云フ御意見ハ誠ニ御尤モダト存ジマス、ソレニ付キマシテ只今御述ニナリマシタヤウナ地方議會ノ議員ノ素質低下ノ聲ヲ聞キマスコトハ誠ニ遺憾トスル所デアリマス、是非其ノ素質ヲ改善シ、向上スル方ニ有ラユル努力ヲ致サナケレバナラヌト云フコトモ全然御同感デアリマス、ソレニ付キマシテハ在來ノ等級ニ依ル選舉制、又新ラタニ職業別ニ依ル選舉制等色々ナ選舉ノ方法ガ考ヘラレルノデアリマスガ、此ノ選舉ハ一般ノ選舉ト切離シテ考ヘル譯ニ參リマセヌノデ、此ノ衆議院ノ

選舉法ト睨ミ合セテ選舉法ノ根本精神カラ建テ直サナケレバナラヌ非常ニ重大ナ問題ダト思フノデアリマス、之ニ付キマシテハ只今申譯のノ中央ノ意見ニ聞エルト云フ御意見デアリマシタガ、地方制度調査會デ細心ナ檢討ヲ行ッテ居ルノデアリマス、一般選舉法ヲ如何ニ改正スルカ、地方ノ自治制度ヲ如何ニ是ト同時ニ改メルカト云フコトニ付テ折角只今研究シテ居ルノデアリマス、是ハ決シテ當座ノ答辯デハアリマセヌ、私ト致シマシテハ御期待ニ副フヤウニ眞劍ニ研究シテ一日モ早ク色々ナ弊害ヲ改メタイト云フ熱意ヲ有ッテ居ルコトヲ茲ニ申上ゲマス

○山隈康君 只今内務大臣ノ懇切ナル御答辯ヲ得マシテ大變満足ヲ致シマス、實ハ此ノ選舉制度改正ニ關シマシテハ數年前ヨリ本議會ニ於キマシテモ御質問ヲ申上ゲテ政府ハ熱心其ノ衝ニ當ルト云フ御答辯ヲ得マシタケレドモ、其ノ後數年ヲ經過致シマシタ今日ニ至ル迄何等選舉制度ノ改正ニ關スル御方針モ決定ガナイヤウデ誠ニ私共ハ遺憾ニ存ズルノデアリマス、唯是ガ今日突如トシテ現レタル問題デハナイノデアリマス、併シ只今内務大臣ノ熱誠此ノ問題ノ解決ニ從事スルト云フ御辯明ヲ得マシテ其ノ實現

ノ一日モ速カナラムコトヲ希望致シマシテ質疑ヲ終リマス

○松村義一君 御尋ヲ致シタイト存ジマス、先日來委任命令ノ問題ニ付キマシテ色々御質疑應答ガアツクノデゴザイマスガ、私ハ先達テ御質疑又御答ノアツクコトノ他ノ方面ニ付テ御尋ネ申上ゲタイト思フノデアリマス、政府ハ委任命令ニ依ラナケレバナラナカッタト云フ御説明ト致シマシテ言ハレテ居ルノデアリマス、ソレデ言ハレテ居リマス時

ニ大綱ヲ法律決メテ細部ヲ命令ニ委任スルト言ヒマスガ、是ハマア言葉ノ工合デアリマスルカラ命令ニ委任サレタモノハ法律ニ規定サレタモノニ比較致シマスレバ、ソレハ細部ト云フコトモ一ツノ言葉デアラウト思フノデアリマスガ、普通ノ私共常識カラ考ヘテ見マスルト云フト勅令ニ委任サレマシタモノハ必ズシモ細部デナイト思フノデアリマス、相當ノ重要ナモノガ委任ヲサレテ居ルト思ハレマス、私ノ考ヲ平ツク申上ゲマス、法律ハ唯根幹ダケヲ決メテ、サウシテ其ノ要綱ハ勅令ニ讓ッテ居ル、恰モ建築ニ譬ヘテ申シマスナラバ、彼方ニモ此方ニモ大キナ柱ダケハ立ッテ居ル、併シナガラ其ノ他ノ重要ナ其ノ柱ノグルリニ又ソレヨリ比較的小サイ柱

ガ立タナケレバナラス、其ノ柱ガ立テ居ラヌ、ソレハ全部勅令ニ委任シテ居ルト云フ極メテ重要ナル問題ヲ廣汎ニ委任サレテアルノデアリマス、而シテ其ノ命令ニ委任シナケレバナラナカッタト云フ理由ト致シマシテ、戰時ニ際シテハ色々變化ガアル、サウシテ豫測ガ出來ナイト云フコトガ一つノ御理由ニナッテ居ルノデゴザイマスルガ、ソレニ付テ更ニ御尋ヲ申上ゲタイ、成ル程戰時ニ對シマシテハ、事情ガ變化ラシテ來ルデアリマセウ、固ヨリソレハ考ヘラレルノデアリマス、併シナガラ事情ノ變化ニ依リマシテ、所謂具體的ノ總動員計畫ト云フモノハ時々御變ヘニナル必要ガアラウト思フノデゴザイマスルガ、其ノ基ニナリマスル法律、法律ハ私共ノ考カラ致シマスルナラバ、サウ度々御變ヘニナラナクテモ濟ムノデヤナイカ、實際具體的ノ計畫ニ付テハ度々御變ヘニナルコトガゴザイマセウガ、法律ハ相當ナコトヲ豫想シテ書クコトガ出來ルノデナイダラウカ、斯様ニ思フノデアリマス、唯色々變化ガアルカラ豫メ法律ニ規定シテ居ルト仰シヤリマスコトニ付テ非常ナ疑念ガアルノデアリマス、法律ハ相當ナコトヲ初メカラ決メルコトガ出來ルノデヤナイカ、言換ヘレバ此ノ法律ノ中ニモ少

シ確ッカリシタ柱ヲ立テ得ラレルノデヤナイカ、斯ウ思フノデアリマスルガ、其ノ點ニ付テ更ニ詳シイ御説明ヲ御願ヒ申上ゲタイト思フノデアリマス

○國務大臣(鹽野季彦君) 委任命令ハ御説

ノ通りニ法律ニ於テ其ノ大綱ヲ定メ、之ヲ實施致シマスルニ付テ、大綱ノ範圍内ニ於テ之ヲ明確ニシテ參ル爲ニ必要ナル命令デアリマス、各本條ニ於キマシテ、義務ト明確ニ定ッテハ居リマスケレドモ、其ノ義務ノ範圍ハ頗ル廣イノデアリマシテ、例ヘバ臣民ヲ徵用シテ或業務ニ就カセルト云フ基本ノ定メヲ爲シテ居ルノデアリマス、之ヲ如何ナル程度ニ實施シテ行クカト云フコトニナリマスル、モウ少シ明確ニ其ノ程度ヲ決メルコトガ之ヲ執行スル上ニ於テ臣民ニ對スル標準ヲ定メテヤルコトガ必要ト考ヘラレルノデアリマス、デ本法ハ總動員計畫ヲ實施シ運用スル爲ニ、法ノ根據ヲ定メテ置クト云フガ爲ニ、本法ハ極メテ大綱的ノ大キナ根本的ノ義務ヲ定メテ居リマス、從ッテ之ヲ實施致シマスルニハ其ノ義務ヲモウ少シ明確ニスル必要ガアル、ソコデ委任命令ニ依ルコトヲ必要ト致シテ居ルノデアリマス、デ、尤モ總動員計畫ナルモノニハ色々變更モアラウガ、ソレヲ運用スル法

律ハモウ少シ具體化シ得ルコトガ出來ルノデハナイカト云フ御尋デアリマス、詰リ事變ニ對シテ豫測スベカラザル狀況ニ即應スル爲ト云フノハ頗ル曖昧デハナイカト云フ御尋デアリマスルガ、前申上ゲルヤウニ、此ノ委任勅令ハ義務ヲドノ程度ニ果タサセラルカト云フ實行ノ問題デ、制限的ニ之ヲ明確ニスルト云フ必要カラ委任命令ニ讓ッデアリマスルカラ、矢張り具體的ノ戰爭ヲ確的ニ豫測シ得ル場合ニ於キマシテ、ドノ程度ニ此ノ義務ヲ實行シテ行クカ、實行サセラルカト云フコトガ決ッテ參リマス、其ノ程度ニ於テ委任命令ニ於テ臣民ノ義務ヲ明ラカニシテヤル、其ノ義務ナルモノハ本法ニ於テ大本ハ決ッテ居ルノダカラ、其ノ範圍ヲ出デナイコトハ是勿論デアリマシテ、唯廣ク臣民ト書イテアルノヲ、必要ニ應ジテ之ヲ男女、年齢、技能等ニ付テ或程度ノ制限ヲシ明確ナラシメル、斯ウ云フコトニナリマスルカラ、矢張り實際ノ戰爭ノ規模等ニ付テノ豫想ガ確定シタ時ニ、初メテ動員計畫ヲ實施シテ行クト云フ方針ガ決ッテ、從ッテ此ノ義務ヲドノ程度ニ實行シテ行クカト云フコトガ決ッテ參ルト云フコトニ相成リマスカラ、只今カラ法文ノ上ニ細カニ書イテ置キマスルト、其ノ戰爭ノ態様ニ對シテ其ノ都度

本法其ノモノヲ改正スルト云フ必要ガ生ジ、甚ダ時宜ヲ失スルト云フ虞モ生ジハセヌカスウ云フ風ニモ考ヘラレルノデアリマス

○松村義一君 只今色々御懇切ナ御答ヲ得タノデゴザイマスルガ、ドウモ私が承リマシタ所ニ依リマスルト、私ノ質問ニ對スル御答トシテハドウモハッキリセヌヤウニ思フノデアリマス、ソレデ更ニ御尋ヲ致サナケレバナラスノデアリマスガ、成ル程御話ノヤウニ法律ニ義務ガ決ッテ居リマシテ、サウシテ委任勅令ニ依ッテ之ヲ制限シ、之ヲ明確ニスルト云フコトデアリマス、併シナガラ此ノ法律ガ勅令ニ依ルト書イテ居リマスノハ、要スルニ法律自身ガ是レノコトヲ決メルケレドモ、其ノ要件ヲ矢張りソコデ決メナクチャナラスノダ、決メルコトヲ必要トスルノダ、決メルコトヲ必要トスルノデアルガ、其ノ内容ハ勅令ニ讓ルト云フヤウニ、法律ガ或必要ナル要件ヲ決メラレナケレバナラスト云フコトヲ法律自身ガ認メテ居ルノデアリマス、從ッテ茲ニ委任勅令ト云フ問題ガ起ルノデアリマス、法律ハ唯廣イ義務ヲ負ハスト云フノデヤナイ、此ノ廣イ義務ハ勅令ニ依ッテ相當具體的ニ制限スベキモノデアルト云フコトヲ前提ニシテ居ルノデアリマス、

是ガ委任命令ノ本質デナケレバナラヌノデアリマス、而シテ法律ガ勅令ニ委任スルト云フコトハ、場合ニ依ッテ必要デゴザイマスルガ、成ルベク法律自體ガ要綱ヲ決メルト云フコトガ第一ノ要義デナケレバナラヌト思フノデアリマス、併シ出來ルダケ法律デ決メル、本當ニ法律デ決メルコトガ實際不便デ、實際出來ナイト云フ場合ニ於テ勅令ニ讓ルト云フヤウニ、委任命令ハ例外的ニ考ヘテ行カナケレバナラヌモノデアルト云フコトガ、憲法ノ本質デナケレバナラヌト思フノデアリマス、殊ニ本法ノ如ク廣ク、人、自由、權利、財産、總テノ廣イ範圍ニ於キマシテ臣民ノ利益ニ關係ヲ致シマス場合ニ於キマシテハ、出來ルダケ法律デ決メルト云フコトガ、憲法ノ趣旨トスル所ト私ハ確信スルノデアリマス、而シテ一面ニ於キマシテ戰爭ノ大小、或ハ其ノ經過等ニ依ッテ變化ガアルト云フ御話デゴザイマスルガ、例ヘバ物資ニ致シマシテモ、日本ニ於キマシテハ、ドウ云フ物資ハ餘ル、ドウ云フ物資ガ實際足ラヌノダト云フコトハ能ク御分リニナッテ居ル筈デアアルノデアリマス、從ッテ如何ナル戰爭ガ起リマシテモ大體ニ於キマシテ、甲ト云フ物資ニ付テハ斯ウ云フ方法ヲ執ラナケレバナラヌ、乙ノ物

資ニ付テハ斯ウ云フ方法ヲ執ラナケレバナラヌト云フコトノ計畫ハ決ラナケレバナラヌノダト私ハ思フ、殊ニ其ノ基準トナリマスル法律ニ付キマシテハ、豫メ相當ノ豫測ガ出來ルト思フ、是ハ政府ノ御方々ニ於キマシテ本當ニ出來ルダケ法律ニ決メヨウト云フ御誠意ガ十分デゴザイマスナラバ、私ハ決メラレヌコトハナイト私ハ思フノデアリマス、我ガ國ノ情勢カラ考ヘテ、總動員計畫ヲナサレルニ當リマシテハ其ノ基本トナル法律ニ付テハ、相當決メラレルコトガ出來ルノデヤナイカ、斯ウ考ヘルノデアリマスガ、其ノイケナイト云フコトニ付キマシテ、モウ少シ私共ニ分カルヤウナ、一ツ御説明ヲ御願ヒ申上ゲタイト思フノデアリマス

○國務大臣(鹽野季彦君) 委任勅令ハ法律

ノ内容デアアル、其ノ委任勅令ニ依ッテ具體的ニ、法律ノ定ムル義務ヲ制限シテ行クノデアルト云フコトハ誠ニ御説ノ通りデアリマス、併シ法律ノ内容トナルモノデアアルカラ、分ッテ居ルモノハ法律デ規定スルコトガ相當デアアル、委任命令ニ讓ルノハ例外ノモノデアルト云フコトモ御尤デアリマスルガ、先刻來御話スルヤウニ戰爭ノ相手ガ決ラナイ時ニ於キマシテ、又之ニ對スル戰爭ノ規

模ヲ想像シ得ナイ時ニ於キマシテ其ノ本條ニ定ムル義務ヲ何ノ程度ニ具體的ニ制限シテ宜イカト云フコトヲ決メマスルコトハ困難デアリマス、尤モ我ガ國ノ物資ガ如何ヤウナル程度ノモノデアアルカ、之ヲ外部カラ取入レテ置ク必要ノアルモノモ物資其ノモノトシテハ決ッテ居リマスルケレドモ、國際關係ニ於テ相手國ガ決リマセヌト云フト、其ノ相手國ノ關係カラ物資ヲ有ッテ居ル先キガ變更ヲ致シテ來ルヤウナコトモアリマシ、ソレニ對スル處置トシテハ種々變ッテ參ラナケレバナラヌト云フヤウナ事情モアリマス、何レニ致シマシテモ其ノ勅令ノ内容ト云フモノノ一番大事ナ點ガ、只今カラ決メテ置クコトモ困難デアリマス、假ニ之ヲ決メテ置キマシテ法文ニ書イテ置キマスルト、實際ノ必要ノ際ニ是ガ改廢變更ヲ致シマスルノニ、相當ノ時間ト手數ヲ要スルモノデアアル、之ヲ勅令ニ讓ッテ置キマスレバ、勅令ハ法律ヨリモ容易ニ改廢變更ノ出來ルモノデアリマスルカラ、其ノ事情ニ即應シテ之ヲ實施スル時機ヲ失ハナイヤウニスルコトガ出來ルノデアリマセウ、斯様ナ次第デ、勅令ニ委任シテ置クコトガ適當ト考ヘテ居ル次第デアリマス

○政府委員(青木一男君) 只今ノ御説明ニ

敷衍致シマシテ若干御參考迄ニ申上ゲテ置キタイト思ヒマス、此ノ法律ノ立案當時ニ於キマシテハ御説ノ如ク出來ルナラバ法律自體ニ書クコトモ寧ろ望マシイノデアリマスルカラ十分研究ヲ致シテ見タノデアリマスルガ、此ノ法律ノ目的ヲ十分ニ達成スル爲ニハドウシテモソレデハ窮屈ニナッテ安心ガ出來ナイト、斯ウ云フ關係者皆ノ考デ斯ウ云フ形ヲ採ルニ至ッタノデアリマス、此ノ戰時對策ノミヲ目的トスル立法ノ實例ヲ研究致シテ見マシテモ、軍需工業動員法ニ付キマシテハ今回ノ法律ト同ジ體形ヲ取ッテ居ルコトハ是ハ御存ジノ通りデアリマスガ、昨年ノ臨時議會ニ於キマシテ幾多ノ非常立法ガ制定サレタコトモ御存ジノ通りデアリマス、而シテ此ノ多數ノ臨時立法ハ今回ノ總動員法ノ中ニモ織込マレテ居ルノデアリマスガ、昨年ノ臨時立法ハ法律ニ明カニ示シテ居ル如ク今次ノ日支事變ニ對シテノミ適用スル一時的ノ法律デアリマス、然ルニモ拘ラズ只今松村サンノ御話ノ所謂骨組ト申シマスカ、此ノ骨組ノ程度ニ至リマシテハ、大體今回ノ總動員法ト大同小異ニ出來テ居ルヤウニ承知スルノデアリマス、之ニ比ベマスルト云フト今回ノ國家總動員法ハ、今次日支事變ニ對シテノミナラズ、今後起

ルベキ有ラユル場合ニ備フル恆久法デアリマスノデ、事態ノ豫測等ニ至リマシテハ、日支事變ニ對スル立法ヨリモ更ニ困難ナルモノガアリマスルノデ、之ヲ詳細ニ法律ニ依ツテ具體的ニ決メテシマフト云フコトハ、法律ノ目的ヲ達成スル上ニ於テドウシテモ不完全トナルト云フコトヲ痛感スル次第デゴザイマス、尙只今物資ノ例ニ付テ御話ガゴザイマシタノデアリマスガ、我が國ニ於テ如何ナル物資ガ缺乏シテ居ルカ、之ヲ如何ナル方法ニ於テ補充スルカト云フコトニ付キマシテモ、現狀ニ於テハ一定ノ計畫ハ樹チマスガ、今後五年十年經ッタ先ノコトヲ考ヘテ見マスと云フト、此ノ際具體的ニ種類等ヲ限定スルコトハ目的ニ副ハナイコトニナリマスノミナラズ、又之ヲ法文ニ表スト云フコトハ我が國ノ總動員計畫ノ一部ヲ表ニ表スコトニナリマシテ、機密保持ノ上カラモ都合ノ悪い部分モ出デ參ルノデアリマシテ、諸般ノ關係カラ、立案當時色々ニ研究シタ結果、ドウシテモ斯ウ云フ國防法ノ本質上、斯ウ云フ形ヲ採ラザラ得ナイ、斯ウ云フ結論ニ到達致シタ次第ゴザイマス

○松村義一君 大臣カラモ政府委員カラモ色々御答ヲ戴キマシタ、マダ私ハ能ク了解

ガ出來スノデゴザイマスガ、色々申上ゲマスト云フト、是ハ意見ノ相違ニ終ルト云フコトニナルカモ知レマセス、ガ又後デ他ノ機會ニ御尋ラスルコトガアルカモ知レマセスガ、一應只今ハ其ノ問題ヲ終リマシテ、次ニ御尋ヲ申上ゲタイと思ヒマス、政府ハ御話ノヤウニ今法律ノ内容ヲ充實スル譯ニ行カスト、斯ウ云フ御話デアルノデアリマス、ソレヲ私ハ更ニ御尋ネ申シタイノハ、要スルニ色々ノ御理由ハ今決メルコトハ出來スト云フコトデアルト思フノデアリマス、假ニ今決メルコトガ出來スト致シマスルナラバ、將來決メルニ當ッテ何故ニ勅令ニ依ルニ至ツカト云フコトヲ御尋ヲ申上ゲタイノデアリマス、今決メルコトハ出來ス、又出來ルトシテモ場合ニ依ッテハ國防上ノ秘密ヲ外國ニ示ス不利益ガアル、併シ何レハ決メナケレバナラス、其ノ決メル場合ニ於キマシテ、勅令ニ依ラズシテ憲法ノ條規ニ從ッテ、法律デ濟ムモノハ法律、命令デ濟ムモノハ命令、斯ウ云フヤウニ御決メニナルコトハ出來スノデゴザイマスルカ、其ノ點ニ付キマシテ特ニ命令ニ委任ヲシナケレバナラスト云フ理由ヲ承リタイノデアリマス

○國務大臣(鹽野季彥君) 假ニ今ヨリ想定シ得ル事項ヲ法律ニ規定スルト云フト、對

外的ニ帝國ノ不利益ニナル場合モアリマセウガ、愈々時期ガ切迫シテ參リマスレバ固ヨリ勅令モ公布發表致スモノデアリマスカラ、其ノ場合ニ於テハ公知ノコトニナリマス、併シナガラ其ノ時ニハモウ既ニ事ガ切迫シテ居ル狀態ノ時ニナルノデアリマス、ノミナラズ先刻モ申上ゲタヤウニ、法律ノ上ニ細カイ規定ガアリマスルト、之ヲ改廢變更致シマスルコトハ頗ル困難ノコトニナリマスノデ、必要ニ對應致シマスルニハ勅令ヲ以テスルコトガ適當デアリマス、尙又特ニ勅令ト致シマシタ理由ハ、詰リ單ニ命令ト致シマセヌデ、勅令ト規定致シマシタ理由ハ、此ノ本案ノ物資、業務等總動員上必要ナルモノハ廣汎ナ種類ニ互ッテ居リマスカラ、關係スル各省ノ所管ニ分レルモノデアリマシテ、各省ガ銘々本法ヲ實行スル爲ニ省令ヲ發スルヤウナコトニナリマスルト、自然統一ヲ缺キマスル虞ガアルノデアリマス、ドウシテモ勅令ニ依リマシテ各省ノ事務ヲ一ツノ方針ノ下ニ執行サセルコトガ必要ト相成ルト考ヘテ居ルノデアリマス

○松村義一君 或ハ私ノ御尋ラスル趣旨ガ徹底シナカッタトモ思ヒマスカラ、更ニ能ク私ノ趣旨ヲ申上ゲテ見タイと思ヒマス、政府ガ勅令ニ委任ラスルト云フ理由トシテ、

變化ガ多クテ豫測ガ出來ナイト云フコト、ソレカラ國防上ノ秘密ヲ早ク知ラシメルヤウナコトハ不利デアルト云フヤウナコトノ理由ガアルノデアリマス、從ッテマア其ノ理由ニ付テハ私ハ必ズシモ先程申上ゲルヤウニ能ク了解ガ出來ナイノデゴザイマスルケレドモ、假ニ其ノコトガ政府ノ言ハレル通りダト致シマシテモ、ソレハ要スルニ、此ノ國家總動員法ノ中ニ色々ノコトヲ決メルコトハ工合ガ悪いノダ、今決メルコトガ工合ガ悪いノダ、將來サウ云フ色々ナコトヲ決メルト云フコトニ付キマシテノ理由ニハナルノデゴザイマスガ、特ニ勅令ニ委任ヲシナケレバナラスト云フ理由ニハナラスト私ハ思フノデアリマス、私ノ考ヲ以テ致シマスルナラバ今日戰爭ガ始ル際ニハ、國民ハ斯ウ云フ覺悟ヲシナケレバナラスゾト云フ爲ニ、今日總動員法ヲ御出シニナルノモ結構デゴザイマセウ、併シナガラ其ノ中ノ重要ナル規定ハ將來ニ讓ルト云フコトデアリマスナラバ、將來之ヲ規定スルニ當リマシテハ、別ニ勅令ニ委任セズシテ法律ヲ要スル事項ハ法律デ規定シタラ宜イ、法律、命令何レデモ宜イト云フ法律命令共同ノ範圍ニ付テハ憲法ノ正條ノ範圍内ニ於テ法律或ハ命令、或ハ命令ノ場合ニ於キマシテモ

勅令デアルコトモアリマセウシ、省令デアルコトモアリマセウ、ソレハ又適宜オヤリニナツテ宜イ、ソレガ又憲法ヲ遵守スル所以デアルト、斯ウ考ヘルノデアリマス、法律デゴザイマシテモ手續ヲ要スルト云フ御話デゴザイマスガ、必要ナレバ何時デモ臨時議會ヲ召集ナサレバ宜イ、又臨時議會ヲ召集スルノ暇ナシトスレバ、憲法第八條ノ命令ニ依ッテヤレバ宜イ、更ニ又極メテ急迫ナル場合ニ於キマシテハ憲法三十一條ニ依ッテオヤリニナルコトモ出來ルノデアリマス、從ッテ迅速ニ適宜ナル處置ヲスルニ當リマシテモ、我が憲法ノ條規ヲ其ノ儘御運用ナサイマスナラバ、十分ニ目的ヲ達スルノデアリマス、ソレガ寧ロ目的ヲ達スル所以デアリマス、何ノ必要ガアッテ命令ニ委任ヲ今日シテ居ルノデアルカ、ソレガ私共ノ了解ニ苦シム所デアルノデアリマス、此ノ點ニ付キマシテ詳細ナル御説明ヲ御願ヒ申シタイト思フノデアリマス

○國務大臣(鹽野季彦君) 國家非常ノ場合、即チ戰時若シクハ之ニ準ズル事變ニ於キマシテ、今ヨリ國家總動員ノ態勢ヲ整ヘテ置クコトガ極メテ必要ト考ヘテ居ルガ、ソレガ爲ニ戰時ニ於ケル國民ノ義務、即チ近代戰ニ於キマスル國力全部ヲ擧ゲテノ戰ヒニ付

テハ、國民ハ是ダケノ覺悟ヲ持ッテ居ラナケレバナラヌゾト云フ心構、竝ニソレニ對スル準備ヲ決定致サセテ置クコトガ、是亦必要ト考ヘラレルノデアリマスルカラ、本法ニ於キマシテハ其ノ大本ヲ確定致シテ置キマシテ、サウシテソレヲ廣ク臣民ニ知ラセテ置クコト云フコトガ、非常ニ意義アルコトト考ヘテ居ルノデアリマス、偕テ之ヲ實行スル場合ニ於キマシテ、義務ノ大綱ハ定ッテ居ル、其ノ實施ニ付テハ、細カイコトハ法律ヲ出シタラ宜イデハナイカ、或ハ憲法上ノ他ノ手段、即チ緊急勅令其ノ他ノ緊急ノ處置ノ方法ガアルデハナイカト云フ仰セデアリマスルガ、法律ニ付キマシテハナカク、其ノ時ノ政情ニモ依リマシテ、サウ早急ニ成立ヲ致ストモ限ラヌノデアリマス、ノミナラズ之ヲ法律決メマシタ場合ニ、戰局ノ推移ニ從ヒマシテ改メテ行クトカ追加スルトカ云フヤウナ場合ニ於キマシテ、又非常ノ手續、困難ノ手續ヲ經ルコトニ相成ルノデアリマス、又緊急勅令ノ手段モゴザイマスルガ、左様ナ特別ノ手段ニ依ラナクテモ、之ヲ既ニ定ッテ居リマスル義務執行デアリマスルカラ、其ノ範圍ヲ超エテ新ラタニ新ラシキ義務ヲ設定スルト云フヤウナ場合ニハ、特殊ノ手段ノ必要ガ

アリマスケレドモ、既ニ其ノ問題ニ於テソレノ決ッテ居リマスノヲ明確ニシテ之ヲ實行スルト云フコトニ過ギマセヌカラ、勅令ニ委任シテ置クコト云フコトガ非常ノ場合ニ處スル上ニ於キマシテモ極メテ好都合ノコトデアラウト考ヘルノデゴザイマス

○松村義一君 只今ノ御答ハ甚ダ遺憾デアリマスルガ、私了解ガ出來ヌノデアリマス、議論ニナルヤウデゴザイマスガ、一言申上ゲテ置キタイノデゴザイマス、法律ニ依ルコトニスルト云フト、時ノ政情ニ依ッテ、或ハ成立ヲ困難ナラシムルコトガアルカモ知レナイト云フヤウナ御話ガ一ツアツタト思ヒマス、尤モ私ガ間違ッタクカモ知レマセヌガ、私左様ニ承ツクヤウニ思ヒマス、是ハ私ハサウ云フ御心配ハ極メテ不必要ナル御心配デアリ、又極メテ……更ニ私ザックバラシニ申上ゲマスレバ有害ナル御心配デハナイカト思フノデアリマス、國家非常ノ場合ニ於キマシテ、實際必要ナル法律ヲ樹テヨウ、政府ガ誠心誠意斯クノ如キコトヲ考ヘラレマシタ場合ニ於キマシテ、如何ナル政情デゴザイマセウトモ、國ヲ愛スルコトニ於キマシテハ天下ニ其ノ比ヲ見ザル我が國民デゴザイマス、何人ガ其ノ必要ナル法律ノ成立ヲ妨グル者ガゴザイマセウカ、

日本ノ國民性カラ考ヘマシテ、左様ノコトハ想像モ出來ヌコトデアルト私ハ考ヘルノデアリマス、深く確信ヲ致スノデゴザイマス、殊ニ非常ノ場合ニ於キマシテ、國民ノ權利義務ニ關スル法律ヲ確定ヲスルト云フ場合ニ於キマシテハ、出來ルダケ國民ノ意思ニ副ッテ行クト云フコトガ、本當ニ心カラ國民ノ協力ヲ得ル所以デナクハナイカト私ハ思フノデアリマス、サウ云フ場合ニ於キマシテ殊ニ行政權ニ依ッテ專斷ヲスルト云フコトガ寧ロ國民ノ協力ヲ阻害スル所以ニナリハセヌカト私ハ考ヘルノデゴザイマス、尙本法ニ廣イ規定ガアルカラ、別ニ特別ニ更ニ法律ヲトカ何トカ云フムツカシイコトヲ考ヘヌデモ宜イデヤナイカ、斯ウ云フ御話デゴザイマスガ、本法ニ唯廣イ規定ヲ決メテ置ク、サウシテ後ノ要綱ハ勅令ニ讓ルト云フコトガ私ハイカスト思フ、要綱ヲ成ベク法律決メタラ宜イデヤナイカ斯様ニ私ハ考ヘマス、或ハ先例カラ考ヘマス、一旦法律決メテ置イテ其ノ法律ノ範圍ヲ確定スル爲ニ、更ニ法律ヲ出スト云フヤウナ餘リ先例ガナイカモ知レマセヌガ、無クテモ宜イ、寧ロソレガ至當ナラバソレヲヤッタラ宜イ、或ハ法制局アタリデ御考ヘニナリマスナラバソレハ「ノンセン」ダ、斯ウ御

考ヘニナルカモ知レマセヌ、ソナラ初メ
カラ法律ヲ出サヌデモ宜イデヤナイカ、斯
ウ御考ヘニナルカモ知レナイガ、併シナガ
ラ政府ノ御話ニ依リマスレバ、豫メ斯ウ云
フ總動員法ヲ出シテ國民ニ覺悟ヲサセルト
云フコトガ必要ダ、是モ私ハ御尤ニ考ヘル、
覺悟ヲサセルコトハ必要デアル、覺悟ヲサ
セルコトガ必要ナラバ法律ヲ出サナケレバ
宜イ、出スト致シマスナラバ、先程申上デ
マシタヤウニ成ルベク之ニ肉ヲ附ケルコト
ガ必要デアルガ、今肉ヲ附ケルコトガ出来
ヌナラバ後肉ヲ附ケルニハ、矢張り之ヲ
スルニハ法律ヲ出ス、斯ウ爲スツガ極メテ
宜イ、何故私ガサウ云フコトヲ申上ゲルカ
ト申シマス、委任命令ト云フコトハ極メ
テ例外的ニ考ヘナケレバナラヌモノデアル、
而シテ本法案ノ委任命令ノ内容ハ極メテ廣
イ、極メテ包括的ノモノデアル、而シテ人
自身ニ對シ、或ハ人ノ衣食住總テニ關シ極
メテ廣汎ナモノデアリマス、極メテ廣汎ニ
制限ヲスルモノデアアルノデアリマス、從ッテ
斯クノ如キ廣汎ナコトヲ委任命令ニ依ルト
云フコトハ私ハイカヌコトデアアルトス様ニ
思フカラデアリマス、從ッテ法律ヲ作ッテ更
ニ又法律ヲ作ルト云フコトノ先例ハドウデ
アルカ兎ニ角ト致シマシテ、サウ云フコト

ヲ致シタラ宜イデヤナイカ、斯ウ考ヘルノ
デアリマス、ソレデアリマスカラ特ニ命令
ニ委任サレナケレバナラヌト云フ御理由ヲ
シツカリ承ラヌトドウモ本法案ヲ協賛スルニ
付キマシテ、私共分ラナイ點ガアルノデア
リマス、ソレデゴザイマスカラ本當ニ命令
ニ委任シナケレバナラヌト云フ實際上ノ理
由ニ付キマシテ、納得ノ行クヤウナ御説明
ヲ御願ヒ申上ゲタイト思フノデアリマス
○國務大臣(鹽野季彦君) 同ジコトヲ繰返
シ申上ゲルヤウデアリマスガ、勿論本法ニ
規定致シテアリマス以外ニ、尙國民ノ自由、
財産ヲ制限致ス必要ガアリマスレバ、勿論
新ナル法律ヲ作ルコトガ必要ト考ヘマス、
併シナガラ目下ノ處總動員計畫ヲ實施致シ
マスル上ニ於テ、本法ニ定メマシタル程度
ニ於テ足レリト考ヘテ居ルノデアリマス、
本法ニ依ッテ人民ノ自由、財産ヲ制限致シマ
スル範圍ハ、成ル程可ナリ廣イモノデゴザ
イマスルケレドモ、主トシテ財産權ニ關係
スル部分其ノ他二三ノ條項ニ互ルノデアリ
マシテ、人民ノ自由、財産ノ殆ド全部ヲ制
限スルト云フ程ノモノデハナイノデアリマ
ス、總動員ノ必要ノ爲ニ先ヅ限ラレテ居リ
マシテ、其ノ必要ヨリ生ズル程度ニ私有財
産ヲ制限スルノデアリマス、併シナガラ平時

ニ於キマシテ是ダケノ制限ヲ受ケルト云フ
コトハ勿論大キナ制限デアリマス、併シナ
ガラ本法案ヲ見マスル先ヅ前提ト致シマシテ、
戰時デアル、國家危急存亡ノ際デアルト云
フコトカラ考ヘテ參リマスルト云フト、此
ノ位ナ制限ハ當然ノコトト考ヘテモ宜シイ
ト思フノデアリマシテ、ソレヲ此ノ法案ニ
於キマシテ確定ヲ致シテアル、ソレヲ實行
ニ移ス方法トシテ勅令ニ依ッテアルノデア
リマスルカラ、別段ドウモ御疑問ノヤウナ
コトハ起ラナイノデハナイカト政府ノ方デ
ハ考ヘテ居ルモノデアリマス、其ノ執行ス
ル爲新ラタニ法律ヲ作ッテハドウカト云フ
風ナ御意見ハマア殆ド前例ヲ見ザルコトデ
モアリマスシ、又其ノ必要モナイノデハナ
イカ、先刻申上ゲマシタルヤウニ事態ガ確
定セヌ内ニハ如何ニ本法ニ書イテアル義務
ヲ明確ニ規定ヲスルト云フコトモ決メ難イ
ノデアリマス、又決メテ見マシテモ事態ノ
變化ニ依ッテ、又之ヲ變更スルト云フヤウ
ナコトニモナルノデアリマスカラ、運用ノ
宜シキヲ得ムガ爲ニハドウシテモ委任命令
ニ讓ルト云フコトガ適當ト考ヘテ居ル次第
デアリマス

○委員長(子爵渡邊千冬君) 松村君チヨッ
ト申上ゲマスガ、マダ御質問ハオアリニナ
ルヤウデゴザイマスガ、總理大臣ガ出席サ
レマシタノデ、總理大臣ハ間モナク又衆議
院ノ方ニ御出席ニナルサウデゴザイマスノ
デ、此ノ際アナタノ御質問ハ總理大臣ニ對
スル質問ガ了ッテカラ更メテ願フト云フ風
ニ願ヒタイト思ヒマスガ……
○松村義一君 宜シウゴザイマス
○委員長(子爵渡邊千冬君) ソレデハ山川
君
○山川端夫君 私ハ總理大臣ニ御尋ネシタ
イト思フ點ハ審議會ニ關スルコトデアリマ
ス、事ハ小サイヤウデアリマスガ、本法ニ
對スル國民ノ不安ヲ除ク上ニ於キマシテ、
政治的ニ此ノ問題ヲ考慮サレルコトハ首相
ノ御考ニ俟ツノ外ナシト考ヘマシタカラ、
實ハ首相ヲ煩ス次第デゴザイマス、本法ニ
對シテハ戰時ニ於テ必要ナル動員、國家總
動員ト云フコトヲ計畫シ、實行スル必要ガ
アルト云フコトハ何人モ異議ナイ所デアリ
マス、唯此ノ際此ノ形式ノ法律ヲ御出シニ
ナルト云フコトニ付テ、國民ハ可ナリ不安
ヲ有ッテ居ルヤウニ見受ケルノデアリマス、
本法中ニハ純然タル準備的ノ條項モアリマ
ス、又實質的ノ問題モアリマスガ、日本ノ
憲法ノ規定ヲ見マス、憲法ノ規定ニハ如
何ナル場合ニ對シテモ、有ラユル場合ニ付

テ之ヲ豫想ヲシテ、ソレニ對スル必要ナ規
定ヲ設ケテ居ルノデアリマス、必ズシモ本
法ノ如キ内容ノ總テヲ勅令ニ委任シナケレ
バ動カナイト云フヤウナコトデハナイヤウ
ニ見受ケラレルノデアリマス、又本法ヲ實
施サレルヤウナ戰時、事變トモナリマスレ
バ、必ズヤ臨時議會ノ召集モアツテ、ソレニ
依ツテ必要ナ手段ヲ執リ得ルコトト考ヘラレ
ルノデアリマス、政府ハ本法ヲ出シテ大綱
ヲ豫メ國民ニ知ラセテ置クト云フ御話デア
リマスケレドモ、本法ノ規定ヲ見マスレバ、
戰時ニ必要ナコトハ何デモヤルノデアルト
云フコトヲ御決メニナツタゲデアリマス、
如何ニ之ヲ實行シ、ドノ程度ニ之ヲ實行ス
ルカト云フコトハ總テ勅令ニ御譲リニナツ
テ居ルノデアリマス、ドウモ國民ノ覺悟ヲ、
國民ニ大綱ヲ豫メ示スト云フヤウナ御趣意
ハ、此ノ法律デハ其ノ目的ヲ達スルコトガ
出來ナイノデハナイカ、又只今モ松村委員
カラ御話ノヤウニ、戰時ニ於キマシテハ日
本ノ國民ハ總テノモノヲ擲ツテ盡忠報國ノ
誠ヲ效スト云フコトハ從來ノ例デモアリマ
スシ、今後モ是ガ日本ノ國民ノ特性トシテ、
少シモソレニ變ル所ハナイト思フノデアリ
マス、ソレデ是等ノ點ニ付キマシテハ、只
今松村君カラ質問應答ガアリマスカラ、私

ハ其ノ點ニハ深く入りマセスガ、兎ニ角斯
クノ如キ廣イ範圍ヲ勅令ニ委任セラレテ、
ドウ云フコトヲヤルノカト云フコトガ分ラ
ナイ所ニ國民ノ不安ガアリマス、モウ一ツ或ハ
政府ハ、將來憲法ニ規定シテアルヤウナ手續
キヲ執ル爲ニ比較的厄介ナコトガアル、例ヘ
バ樞密院ニ付議スルト云ツテモ、樞密院ニ付
議スル手續キガ面倒デアツテソレデサウ云
フ手續ヲ避ケル爲ニ此ノ形式ニ依ツタト云
フコトヲ想像スル者ガアリマス、又甚シキニ
至リマスト背後ニ或一種ノ「イデオロギー」
ガアツテ、ソレニ依ツテ、ソレニ依ツテ今後ノ
政治ヲ實行スル爲ニスル階段、デアルトスラ疑ツ
テ居ル者ガアリマス、ソレ等ガ國民ノ不安ノ一
ツデアルト私ハ見テ居ルノデアリマス、其ノ次
ニ本法ハ今申シマシタヤウニ、内容ハ殆ド
總テ勅令ニ委ネテ居ル、白紙委任狀ト云フ
言葉ノアルノモサウ云フ點カラ出ルノダラ
ウト思ヒマス、然ルニ此ノ委員會ニ於キマ
シテノ質問應答ノ結果ニ依リマス、本法
ニ書イテアリマス勅令ノ中デハ八箇條デア
リマスカ、十箇條デアリマスカハ執行命令デ
アルト云フコトガ明ニナツタノデアリマス、ソ
レデ我々ハ執行命令ナラバ問題ハ極ク簡單
ニナルト思ツテ居リマシタガ、尙政府當局ノ
御説明ニ依リマス、其ノ執行命令デ出シ

テ居ルモノデモ、必要ニ應ジテハ更ニ委任
命令ヲ出スコトモアルカモ知レナイ、全般
的ニサウ云フ御話ガアリマシタ爲ニ、又再
ビ我々ガ不安ノ念ヲ懷ク、詰リ是ハ全體カ
ラ云ツテ白紙委任狀ノ請求デアルト云フヤ
ウニ思ハレルノデアリマス、執行命令、斯
ウ云フ細カナコトニ付テ今申上ゲル必要ハ
アリマセスガ、執行命令ヲ出シテ此ノ運用
ガ出來ルト云フ場合ニ、更ニ委任命令ヲ發
スル必要ガアルト云フコトハ、我々トシテ
ハドウモ了解ヲシニクイ所デアリマス、
一昨日モ山岡君カラ其ノ點ニ付テハ詳シ
ク政府ノ考ガ違ツテ居ルノデヤナйкаト云
フコトヲ論ゼラレタノデアリマス、假ニ一
例ヲ擧ゲテ見マス、一昨日私ガ質問致シ
マシタ第五條ノ關係ニ付テ言ヒマス、是
ハ絕對ニ委任命令ハ要ラナイモノノヤウニ
考ヘルノデアリマス、ソレモ矢張り政府ハ
全般的ニ將來委任命令ヲ出スコトガアルカ
モ知レナイト言ツテ御改メニナラナイ、必要
ノ場合ニ一般臣民ノ協力ヲ求メルト云フ點
デアリマスガ、是等ハ純執行命令トシテ處
置ガ出來ルト思フノデアリマス、若シ之ニ
此ノ條項ニスラ將來委任命令ヲ出ス必要ガ
アルト云フコトニナリマス、ドウ云フ場
合デアリマスカ、我々ハ實ハ想像出來ナイ、

強ヒテ想像ヲ致シマス、或ハ消極的協力
トデモ申シマスカ、將來政府ノ邪魔ニナル
モノハ、今日迄「ドイツ」ガヤツタヤウニ、或一
定ノ收容所ニ保護スル、收容スルト云フヤ
ウナコトデモ御考ヘニナツテ、サウ云フコト
ガ實行サレルト云フノナラバ、或ハ委任命
令ノ必要ガ起ルカモ知レナイ、マサカサウ云
フコトデアリマスマイガ、併シ斯ウ云フ明
カナコトニ付テモ、尙委任命令ヲ出ス場合
ガ將來ニ起ルカモ知レナイト云フヤウナコ
トヲ御説明ニナリマス、一般ハ更ニ不
安ヲ感ズルノデアリマス、政府ハ將來委任
命令ノ蔭デ何ヲスルカ分ラナイト云フヤウ
ナ感じモ起スノデアリマス、更ニ本法ヲ施
行スル爲ニ、本法ノ施行ニ關スル重要ナ事
項ハ審議會ニ付議サル、コトニナツテ居リ
マス、併シ是ハ法律ノ趣意ニ依リマス、
諮問機關デアリマス、唯此ノ點ニ關シマシ
テ、政府ハ從來衆議院等ニ於キマシテモ、
諮問機關ノ決議ハ十分尊重スルト云フヤウ
ナコトヲ御話ニナツテ居ルヤウデアリマス、
併シ政府ノ最近爲サレタコトヲ見マスレバ、
是ハ或重要ナ問題ニ付テノ諮問機關ニ對ス
ル御措置デアリマス、政府ハ案ヲ出サレテ、
其ノ審議會デアリマシタカ、委員會デアリ
マシタカ、其ノ委員ノ意見ヲ問ハレマシタ、

サウシテ其ノ決議ハセズニ、政府ノ不利ナル決議ニ到達シサウデアルト云フノデ、決議ハ求メラズシテ、唯意見ヲ聴キ放シニシテ是ハ諮問スルノデアル、諮問會ノ委員ノ意見ハ分ッテ居ルト云フコトデ、決議ヲ求メラズシテ、直チニ政府ノ所信ヲ斷行セラレタト云フヤウナ例ヲ最近現政府ニ於テ御示ニナツタノデアリマス、是ハ珍シイ例デアリマス、ソレデサウ云フ實例ヲ一旦御作リニナリマシテ、今後再ビ此ノ諮問會ニ對シマシテモ、今ノヤウナコトヲ實行サレナイト云フ保證ハ、我々トシテハ安心シテ見ル譯ニハ行カナイノデアリマス、何時是ガ同ジヤウナコトヲヤラレルカモ知レナイト云フ不安ガ此處ニモ起ッテ來ルノデアリマス、申ス迄モナク政治ハ國民ノ不安ヲ去ルト云フコトガ一番必要ト考ヘマス、殊ニ戰時ニ於キマシテハ、最モ其ノ必要ヲ感ズルモノト思ッテ居リマス、日本國民ノヤウニ智力ノ優レタ立派ナ國民ニ付キマシテハ所謂由ラシムベシデハイケナイ、知ラシムベシ、安ンズベシデ以テ政治ヲ御ヤリニナルコトガ極メテ必要ガアルト考ヘルノデアリマス、ソコデ此ノ審議會ハ今諮問機關トナッテ居リマスガ、是ニハ色々ナ理窟ハアリマセウ、又先例モアリマセウ、併シ是等ノ理窟先例

ヲ超越シマシテ、高ク政治的ノ見地カラ御覽ニナリマシテ、此ノ人心ノ不安ヲ除ク、近衛首相ノ所謂將來國民ノ自發的協力ヲ求メルト云フヤウナ趣意ニ於キマシテ、審議會ヲ議決機關トナサレル御考ハナイカト云フコトヲ伺ヒタイノデアリマス、戰時必要ナ場合ニ於キマシテハ、實際ノ問題ト致シマシテ、議決機關デアッテモ諮問機關デアリマシテモ、其ノモノノ性質ハ非常ニ違ヒマス、事實運用ニ於キマシテハ私ハ差違ガナイト思フ、諮問機關デアルトシマシテモ、戰時ニ於キマシテ萬一諮問委員ガ反對ヲスル、總テ反對スルト云フヤウナ場合ニ、ソレヲ無理ニ政府ノ所信ヲ斷行ナサルト云フヤウナコトガアリマスレバ、國民一般ノ國民ノ一致ト云フ上ニ於テモ頗ル面白カラザル影響ヲ來スモノト思ヒマス、又議決機關ト致シマシテモ、今ノ日本ノ國民性カラ考ヘテ見マスレバ、戰時ニ政府ガ必要ト認メル法令ヲ御出シニナルニ付キマシテ、ソレニ無理ニ反對スルト云フコトモ是ハ無論想像ガ出來ナイノデアリマス、ソレデ唯議決機關ニナリマスレバ、政府ガ此ノ審議會ノ委員ニ對シテ十分ニ其ノ必要ヲ了解セシメルダケノ努力ガ是ハ必要デアリマス、寧ロソレハ國民ノ全體ノ一致ヲ確メテ、戰時ニ

於キマシテ對敵行動ニ一致シテ邁進スルト云フ上ニ於テ缺クベカラザルコトデアルト私ハ考ヘルノデアリマス、サウ云フ風ニナリマスレバ、此ノ案ニ對スル國民ノ不安モズツタクナッテ來ル、國民ハ安ンジテ國家ノ爲ニ協力スルト云フコトニナリ得ルノデアリマス、首相ノ所謂自發的協力ト云フモノガ茲ニ至ッテ出來ルノデハナイカト考ヘマスノデ、特ニ先例トカ理窟ト云フコトヲ超越サレテ、政治的ニ此ノ問題ヲドウカ御考慮ニナリ議決ニナルコトヲ私ハ希望スルノデアリマス、ソレデマア首相ヲ煩シマシテ此ノ問題ニ對スル御方針ヲ承リタイト考ヘルノデアリマス

○國務大臣(公費近衛文磨君)

此ノ法案ハ憲法ノ制定以來殆ド類例ヲ見ナイト申シテモ宜シイヤウナ立法デアリマシテ、此ノ立法ガ此ノ議會ニ現レテ參リマシタニ付キマシテハ、ソコニ裏面ニドウ云フコトガアツタカ、又其ノ思想的ノ背景トナッテ居ルモノハ何デアルカト云フヤウナコトニ付キマシテ、廣ク世間ニ不安ノ念ガアリマシタコトハ私共モ十分ニ之ヲ認メルノデアリマス、又其ノ不安ハ一面カラ申シマスト誠ニ尤デアルト思フノデアリマス、ソレデ如何ニシテ斯クノ如キ不安ヲ去ッテ、快ク此ノ法案ニ

皆サンガ御協力、御協賛ヲ願ヘルト云フヤウナコトニ付キマシテ政府ト致シマシテモ色々苦心ヲ致シタノデアリマス、只今御話ノ審議會ノ如キモ、最初ハ政府ノ案ニハナカッタノデアリマス、之ヲ入レマシテ愈々本法ノ發動ノ場合ニハ貴衆兩院ノ方々ノ御參加ヲ得テ發動ヲスルト云フヤウナ仕組ヲ考ヘタノデアリマス、ソレデ此ノ審議會ヲ何故諮問機關ニシテ議決機關ニシナカッタカト云フ御尋デアリマシタガ、此ノ國家總動員ノ法案ノ發動致シマスル場合ニハ勿論出來ルダケ衆知ヲ集メマシテ、其ノ衆知ノ力ヲ借りテ、此ノ法案ノ運用ノ遺漏ナキコトヲ期サナケレバナラヌノデアリマスケレドモ、併シナガラ此ノ法案ノ運用ハ政府ガ全責任ヲ以テ之ニ當ルベキモノト考ヘルノデアリマス、從ッテ之ヲ議決機關トラシムルコトハ一面ニ責任ノ轉嫁トモナリマス、斯クノ如キ性質ノ機關ト致シマシテハ議決機關トスルヨリモ諮問機關ト致ス方ガ適當デアルト考ヘテ居ル次第デゴザイマス

○委員長(子爵渡邊千冬君)

チヨット一言松村君ニ申上ゲマスガ、總理大臣ハ直チニ衆議院ノ方ニ御出席ニナラナケレバナラナイヤウニ先刻申シマシタガ、衆議院ハ休憩ヲ致シタサウデゴザイマスカラ、多分總理大臣

ハ午後ハ衆議院ノ方ニ御出席ニナラナケレバナラナイト存ジマスカラ、矢張り先刻申上デマシタ通り此ノ御出席ノ機會ニ總理大臣ニ對スル質問ヲ續行致シタイと思ヒマスガ、左様御承知ヲ願ヒタイと思ヒマス

○山川端夫君 只今首相カラ御懇切ナル御答辯ヲ得マシタガ、ソレハ審議會ヲ議決機關トスルコトニ付テノ理由モ無論私ハ承知ハ致シテ居リマス、又從來ノ先例ト云フコトモ色々調ベテ見マシテ、承知ヲ致シテ居リマスガ、私ノ申上デマスノハ寧ろ是等ノ理由ニ因ハレズシテ、重大ナル法案デアリマス、斯ウ云フ法案ハ初メテデアル、此ノ法案ニ對シテ國民ノ不安ヲ懷イテ居ルコトヲ解消スルト云フ意味ニ於キマシテ、政治的ニ此ノ國民ノ不安ヲ除クト云フコトニ御考ニナリマスレバ、必ズシモ、サウ云フ議決機關ニスルト云フコトニ付テ、強ヒテ御反對デモナイカトモ考ヘテ居ルノデアリマスガ、併シ此ノ問題ニ付キマシテハ此處デ押問答ヲ致シマシテモ唯時間ヲ要スルダケニナルノデアリマスカラ私ハ既ニ政府ノ御意思ガハッキリナリマシタ以上ハ是以上深クハ茲デ繰返スコトハ止メヨウト思ヒマス

○委員長(子爵渡邊千冬君) 塚本君

○塚本清治君 私モ總理大臣御臨席ノ機會

ヲ幸ニ、一ツ御質問ヲ申上ゲタイノデアリマス、唯總理大臣御自身ノ御答辯ヲ煩シマスル質問ノ前ニ、總理大臣御臨席ノ下ニ於テ、他ノ大臣若シクハ政府委員カラデモ宜シイノデアリマスガ、御答辯ヲ願フテ、サウシテ先日來質問應答ヲ重ネタ上ニ、私ニ未ダ疑義ガ解ケナイ、却テ惑ヒヲ増シタト云フ點ヲ簡單ニ確メテ置キタイノデアリマス、總理ノ御答辯ヲ煩スト云フ意味デハアリマセヌガ、總理ノ御出デノ席ニ於テ承リタイ、ソレハ外ノコトデハアリマセヌ、今回ノ國家總動員法案ニ於ケル「勅令ノ定ムル所ニ依リ」ト云フ委任勅令ハ、マア是迄解シテ居ツタモノガ三十一箇所掲ゲラレテ居リマスルガ、其ノ中一二ハ明ラカニハ委任勅令デモナイ、ソレハハッキリ致シテ居リマスルガ、此ノ大體三十箇所バカリニ互ツテ居リマスル「勅令ノ定ムル所ニ依リ」ト云フコトガ、初メハ委任勅令ト一般ニ解シテ居リマシタノデ質問致シテ居リマシタガ、ソレハサウデハナイノデス、中ニハ執行命令ヲ「勅令ノ定ムル所ニ依リ」ト云フコトデ規定シテ居ルノデアルト云フコトニ變ッテ參リマシタ、ソシナラバ、其ノ執行命令デアル「勅令ノ定ムル所ニ依リ」ト云フノハドノ條トドノ條カト云フコトヲ明確ニ御説明ヲ願フツノデ

アリマシタ、而シテ司法大臣ハ此ノ質問ニ對シテ、五條、十一條、十五條、十六條、二十條、二十一條、二十三條、二十四條、二十九條ノ二、五十條ト云フ風ニ擧ゲラレタノデアリマス、ハッキリ申サレマシタカラ、サウト心得テ居リマシタガ、他ノ政府委員ガ出テ、サウデモナイヤウナ風ニ説明サレタ、ソレハ執行命令ト云ウテモ場合ニ依ツタナラバ委任命令トナルコトモアルカモ知レナイ、或ハ他ノ政府委員ハ、委任命令ト執行命令ト云フモノハ何カ學問上ニモ議論ノアルコトデアルカラ一致シナイト云フ風ヲ御説明ニモ聽キ取レタ、要スルニ今日迄ノ質問應答デハハッキリシナクナリマシタ、此ノ點ハ可ナリ重要ナ點ト存ジマスルカラ、今一應政府ノハッキリシタ所ノ、質問ノ度毎ニ動クト云フヤウナコトノナイ前後一貫シタ御説明ヲ希望致スノデアリマス

○國務大臣(鹽野季彦君) 只今御尋ノ點ニ付キマシテ過日私カラ答辯ヲ致シマシタ際、頗ル言葉ノ足りナイ點モアリマスシ、又御尋ノ趣旨ト私ノ答ヘマシタ趣旨トガ喰ヒ違ッテ居ルヤウニモ感ズルノデアリマシテ、速記録ヲ見マシテカラ何レ申上ゲタイト考ヘテ居ツタノデアリマス、幸ヒ只今改メテ御質問デモゴザイマスルカラ一應申上ゲマス

ルガ、本法各條ニアリマスル「勅令ノ定ムル所ニ依リ」トアリマスノハ、委任命令ヲ主トシテ考ヘテ居ルノデアリマス、併シナガラ其ノ勅令ノ中ニハ執行命令デモ出來ル事項ヲモ含ムコトガアルト云フ趣意デアルノデアリマシテ、例ヘバ施行要綱トシテ掲ゲアル中ニ執行命令デモ出來ルト云フ箇所モアリマス、ソレニ付テ然ラバドノ條文ナリヤト云フコトデ、忽卒ノ間ニ十箇條バカリノモノヲ擧ゲテ御答ヲ致シマシタ、既ニ其ノ中ニ官制事項ナドモ申上ゲタヤウナ、甚ダ忽卒ノ際杜漏ナ點モアツタノデアリマス、擧ゲマシタル條項ガ、是ガ執行命令ノモノデアツテ、其ノ條項ニアル勅令ハ執行命令ノ勅令デアルト云フ風ニ御取り下サイマスルコトハ、甚ダ政府ノ意圖トハ違フノデアリマス、其ノ點ニ付キマシテハ尙詳シク政府委員ヨリ御説明ヲ申上ゲルコトニ致シマス

○政府委員(青木一男君) 本法規定中、「勅令ノ定ムル所ニ依リ」ト云フ此ノ字句ノ示ス勅令ハ、形式的ニ全部委任勅令デアルト考ヘマス、先般政府側ヨリ御説明申上ゲマシタ意味ハ、此ノ勅令ノ規定スル内容中ニ二種アル、法律ノ委任ヲ俟タザレバ規定シ得ザル事項ヲ規定スル分ト、所謂執行命令デ

モ規定シ得ル事項ヲ規定スル分ト二種アルト云フ意味ニ申上ゲタノデアリマス、而シテ先日例示のニ箇條ヲ舉ゲマシタ意味ハ、御手許ニ御配リ致シマシタ施行要綱等ヨリ判斷致シマシテ、現在マア考ヘラレル程度ニ於テ先日例トシテ舉ゲマシタ箇條ハ所謂執行命令トシテ規定シ得ル事項ヲ規定スル分ガ多イ、多ハ大部分デアラウト云フ意味ニ申上ゲタノデアリマス、其ノ際モ政府委員及國務大臣カラ申サレタ如ク、是等ノ例示のノ條文ト雖モ、將來長ク所謂執行命令ニ該當スル事項ダケデ足リルヤ否ヤニ付テハ問題ガアル、斯ウ云フ風ニ御説明申上ゲタ次第デアリマス

○塚本清治君 總理大臣ノ御答辯ヲ願ヒマスル質問ヲ致シマス、今回ノ國家總動員法案ニ於キマスル委任命令ノ規定ノ如キ、其ノ内容ノ極メテ廣汎ナル事項ヲ包括的ニ命令ニ委任スルト云フコトハ、憲法ノ精神ニ少シモ悖ル所ナシト御考ニナルデアリマセウカ、政府ハ委任命令ニハ先例ガアリ、今回ノ國家總動員法案ノ規定ハ現行軍需工業動員法其ノ他支那事變ニ關スル臨時諸立法ニ淵源致シテ居ルノデアッテ、是等諸法律ニ於ケル先例ヲ踏襲シタルモノデアルト述ベラレテ居ルノデアリマス、申ス迄モナク委

任命令ニハ從來幾多ノ先例ガアリマス、併シナガラ此ノ度ノヤウナ廣大ナル内容ヲ包括的ニ命令ニ委任シタノハ未ダ曾テ絶無デアルト私ハ信ズルノデアリマス、只今總理大臣ガ山川委員ノ質問ニ對シテ御答ヘニナッタ際ニ、從來ニナイ立法デアルト云フコトヲ申サレタ其ノ御趣意ハ、此ノ點ヲ含ンデ居ルカ否カハ存ジマセヌケレドモ、委任命令ニ可ナリ廣汎ナル包括的ノ權限ヲ委ネタモノハ未ダ曾テナイト私ハ思ヒマス、政府ノ引用セラレマスル軍需工業動員法ニ於ケル先例ヲ見マシテモ、例ヘバ臣民ノ徵用ニ關スル委任命令ノ如キ、是ハ軍需工業動員法ニ於テハ、其ノ第八條ニ依ッテ明カニ徵用ノ目的ガ法律ニ依ッテ限定的ニ規定セラレテ居ルノデアリマス、即チ軍事輸送機關ト、政府ノ管理スル工場又ハ事業場ニ從事セシムル爲ニ徵用セラル、ニ止マリ、假令軍事ニ關スルコトデアリマシテモ、右ノ此ノ二ツノ目的以外ニハ決シテ徵用セラレナイノデアリマス、斯様ニ憲法ニ限定セラレタル目的ニ付テ、臣民ノ徵用ニ必要ナル規定ヲ勅令ニ委任セラル、ノデアリマシテ、即チ委任ニ依ル勅令ハ極メテ狹少ナル特定のノ事項ヲ補足スルニ過ギナイノデアリマス、委任命令ハ補足命令デアルト

云フ憲法ノ學問ノ言葉ノ通りデアリマス、然ルニ政府ノ國家總動員法案ニ於ケル臣民ヲ徵用セラル、目的ハ、此ノ法案第四條ニ規定セラレテ居リマスルガ、此ノ規定ニ依ッテ枚舉シ得ベカラザル、將タ又豫想ノ及バザル不特定ナル千種萬態ノ事項ヲ含蓄セシメテアルノデアリマス、而シテ法律ハ一切之ヲ包括的ニ勅令ノ定ムル所ニ委ネムトスルノデアリマス、換言致シマスルト云フト、徵用ニ關スル臣民ノ義務ハ具體的ニ其ノ目的ノ範圍モ全ク勅令ニ依ッテ定ルコトニ相成ッテ居ルノデアリマス、實質的ニハ勅令ニ依ッテ創造セラル、ノデアリマス、斯クノ如キガ果シテ憲法ノ精神ニ悖ルコトハナイデアリマセウカ、臣民ノ權利義務ニ關スル規定ハ議會ノ協贊ヲ經ベキ立法事項トナッテ居リマスル、我ガ帝國憲法ノ精神ニ副ハムトスルニ於テ更ニ遺憾ナシトセラル、デアリマセウカ、右舉ゲマシタノハ固ヨリ單ニ一ツノ例ニ過ギマセヌ、本法案ニ於ケル委任命令ノ内容ガ範圍極メテ廣大際涯ナク、抽象的ナルコト概ネ此ノ類デアリマス、政府當局ノ御説明トシテ承ツタ所ニ依リマスルト、委任ノ範圍ノ廣イトカ狹イト云フガ如キハ性質上ノ相違デハナイ、畢竟程度ノ相違ニ過ギナイノデアッテ、何等差支ナシ

ト云フ御見解ノヤウニ申サレテ居リマス、併シ此ノ點ハ十分御考慮アツタコト存ジマスルガ、程度ニモ依ルコトデアリマス、大ナル程度ハ性質ヲ變化セシメマス、如何ニ大ナル程度ノ開キガアッテモ、尙且程度論トシテ單ナル論理ヲ以テ解決スルガ如キ能度ハ、憲法ノ適正ナル解釋ガ斯様ナ態度デ出來マセウカ、憲法ノ忠實ナル奉遵ガ出來ルデアリマセウカ、今更申上ゲル迄モナク、帝國憲法ノ條章ハ簡潔デアッテ、而シテ意味ガ深遠デアリマス、此ノ問題ノ如キハ單ニ論理ノミヲ以テセズ、深ク法理ヲ釋ネ、事ノ實體ヲ憲法ノ精神ニ照シテ判斷スベキ問題デハゴザイマスマイカ、飽ク迄憲法ノ精神ヲ遵奉致シマシテ、遺漏ナク總動員ノ計畫ヲ樹ツルコト、政府ハ國民ヲ信ジ、國民ハ政府ヲ信ジ、斯クシテコソ兩々相竝行致シテ國防ガ益々鞏固タルコトヲ得ルノデアリマスマイカ、此ノ點ニ付テ篤ト御所見ヲ伺ヒタイノデアリマス、御答辯ヲ得マスレバ仕合セニ存ジマス

○國務大臣(公爵近衛文麿君) 本法案ニ於キマシテ極メテ廣汎ナル範圍ニ亙ッテ臣民ノ權利自由ニ關スル重大ナル事項ヲ命令ニ委任シテ居ルト云フコトハ、憲法ノ精神ニ反スルノデハナイカト云フ御尋デアリマス

ガ、政府ト致シマシテハ、此ノ法案ハ毫モ憲法ノ精神ニ反シテ居ルト考ヘテ居リマセヌ、委任命令ガ違憲デアルト云フヤウナ説ガ衆議院デモゴザイマシタガ、斯クノ如キ學說モアルカモ知レマセヌケレドモ、サウ云フ説ハ兎モ角ト致シマシテ、我ガ國ニハ先例モアルコトデアリマス、唯問題ハ委任命令其ノモノデナク、結局其ノ分量ガ多イト云フ問題デアルト思フデアリマス、委任命令ガ斯クノ如キ數多キ結果ニナリマシタノハ、本法案ニ規定シテ居リマスル事項ガ極メテ多岐ニ互ツテ居リマス、軍需工業動員法ニ付テモ今御話ガゴザイマシタガ、其ノ軍需工業動員法ニ更ニ民需モ加リマシタノデ、一層其ノ範圍ガ増加シタヤウナ次第デアルデアリマス、要スルニ近代戰爭ノ特質ニ鑑ミマシテ、國力ト國力トノ全面的ノ戰デ、而シテ此ノ戰爭ノ規模ガ如何ニ大キナモノニナルカ、又如何ナル形ヲ執ルカ、相手國ガ如何ナル國トナルカト云フヤウナコトハ今日カラ豫測セラレナイノデゴザイマシテ、其ノ時々ノ實情ニ應ジテ適當ニ處置ラシテ行カナケレバナラヌデアリマスルガ故ニ、命令ノ内容ヲ此處デ直接ニ、具體的ニ規定シマスルコトハ事實困難デア

ルデアリマス、從ッテ斯ノ如ク委任命令ノ形ヲ執ルニ至ツタデアリマス、或ハ緊急勅令ニ依リマスとか、或ハ三十一條ノ發動ニ依リマスとか云フヤウナ御議論モアリマシタケレドモ、政府ト致シマシテハ尠クトモ豫想シ得ル程度ニ於キマシテ、其ノ將來ノ戰爭ノ規模ニ應ジテ、其ノ大綱ダケデモ茲ニ法律トシテ示シテ置クト云フコトガ寧ロ立憲ノ精神ニ適フノデハナイカト云フヤウニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○塚本清治君 簡單デスカラ……、大綱ダケデモ議會ノ協賛ヲ經ル法律トセラル、コトニ何等異存ハナイデアリマス、私ノ御尋ネ致シタイノハ、大綱ダケニ止メラレタコトガ憲法ノ精神ニ背キハシナイカト云フコトナンデス、總理大臣ハ先例ガアルト云フコトヲ仰セラレマシタ、其ノコトハ私ガ御質問申シマスル際ニモ述ベテ置キマシテ、先例ノアルコトハ心得テ居リマス、而シテ總理大臣ハ分量ガ多イノダト、斯ウ云フコトヲ申サレマシタ、ソコデス、分量ノ多クナツタ事情ハ了解致シマス、併シナガラ其ノ分量ノ多イ今ノ委任命令ト是迄ノ先例ニナツテ居ル委任命令トハ、即チ仰セノ通り分量ノ相違ノ程度ノ相違ナンデス、ソコナンデ

ス問題ハ……、分量ガ多クナツタト云フコトハ事柄ガ多クナツタカラダト、即チ軍需、民

需其ノ他合セテ總括的ニ、謂ハバ法典的ニ「コウデイフアイ」サレタ國家總動員法案デアルガ故ニ、多岐多端ナリト云フコトデ分量ガ多クナツタ事情ハ了解致シマシタ、併シナガラソレハ委任命令トスルト云フ結論ニハ到達致サナイ、分量ガ多クレバ多イ分量ヲ書クベキデ、ソレハ論理上私ノ御尋シタ點デハナイ、何ガ故ニ分量ガ多クナツタカト云フコトハ御尋ネシナイ、分量ガ多クナツテ程度ガ違ッテ來タカラ、憲法ノ精神ニ先例ト違ッテ悖ルコトニナリハシナイカト云フ點デアリマス、ソレカラ又實際カラ申シマシテモ、政府カラ我々ニ審議上參考ノ爲ニ示サレテ居リマスル外國ノ立法例ヲ見マシテモ、臣民ノ徵用ニ關スル類例ノ外國ノ規定ニハ、所謂金の給付、人的給付トシテ、此ノ總動員法案ニ掲ゲテナイ所謂委任命令ニ讓ッデアリマスル事柄、即チ幼年者ハイケナイ、例ヘバ十六歳以下ハ免除スル、六十歳以上モ免除スル、或ハ議會ノ議員、其ノ他公法上ノ組織ノ成員ハ徵用シナイ、或ハ女デ申シマスラバ、子女ノ養育ニ當ッテ居ル者ハ免除スル、或ハ妊娠中ノ者ハ免除スル、又極メテ卑近ナ例デアリマスガ、斯ウ云フコトハ政府ハ度々御述ニナリマスル、千變萬化ノ事態ニ即應スル所

ノ幾多ノ規定ハ是ハ豫メ法律ニ掲ゲテ置クトハ出來ナイ、又敵國ニ知ラレテハ不利益デアアル、國防上損ヲスルト云フコトモアリ得ルカラ、旁、以テ委任命令トスルノデア

ル、斯様ニ申サル、ノデアリマスルガ、只今舉ゲマシタ例ニ付テ見マシテモ、十六歳以下、或ハ六十歳以上ハ徵用シナイ、精神的、肉體的ノ無能力者ハ徵用ヲ免除スルト云フガ如キハ、千變萬化ノ事態ニ即應シテ規定シナケレバナラナイモノトハ私共ノ常識ニ於テハ考ヘラレナイ、其ノ他ノ事項ニシテ法律ノ内容トシテ掲ゲルノニ差支ナイモノハ幾多モアル、ソレハ何カ外ノ事情ガアツテ、國家總動員法案ニ入レラレルニ至ラナカッタト云フコトニナレバ兎モ角、先例ガアルト云フ故ヲ以テ此ノ度ノ委任命令モ差支ナイト云フ御議論ニハマダ承服申上ゲルコトガ出來ナイ、先刻モ申上ゲマシタ通り、程度ノ相違ハ即チ性質ヲ變更スル、極メテ卑近ナ例ヲ申上ゲテ恐縮ニ存ジマスルケレドモ、體溫ガ三十六度トカ、三十七度トカ云フ時ニハ心配ハナイ、是ガ七度ヲ越シテ八度、九度ニナリマスト是ハ程度ノ相違ダト云フコトデ安閑トシテ居ル譯ニハ參リマセヌ、程度ノ相違ハ往々ニシテ性質ノ變更デアアル、ソレ故ニ私ハ其ノ點ニ付テハ疑問

ヲ持チマスルノデ、總理大臣御臨席ノ際幸ニ御所見ヲ伺フコトガ出來レバ仕合セト考ヘテ申上ゲタノデアリマス

○政府委員(青木一男君) 先程塚本委員ヨ

リ國家總動員法ト、軍需工業動員法ト比較サレマシテ、今回ノ規定ハ本質的ニ違フト云フ趣旨ノ例トシテ、國民徵用ノ規定ヲ御引用ニナッタノデアリマスカ、成ル程軍需工業動員法ニ於キマシテハ、國民ヲ徵用スル業務ハ政府ノ管理スル工場若シクハ事業場、若シクハ軍事輸送機關ト云フ風ニ限定致シテ居リマス、國家總動員法ニ於キマシテハ、總動員業務トナツテ居リマスノデ、其ノ業務ノ範圍ハ廣クナツテ居リマス、其ノ理由ニ付キマシテハ先程首相ヨリ御述ノ通り、其ノ點ハ御了承得タコトト思ッテ居リマスガ、法律ノ立方、即チドノ程度ニ法律自身ニ規定スルカ、アトヲ勅令ニ委任スルカト云フ、其ノ法律ノ建前ハ私ハ軍需工業動員法ト今回ノ法律ハ違ッテ居ラナイト考ヘテ居リマス、單ニ適用スル業務ノ範圍ハ先程首相ヨリ御述ノ通り單ニ軍需ノ充實、軍需工場ト云フヤウナコトダケデハ國力戰ガ出來ナイ、國民ヲシテ生活ニ窮セシメナイコトモ考ヘナケレバナラス、國民經濟ノ運行モ故障ナク行クヤウニシナケレバ戰爭ノ目的ハ達シ

ナイト云フ趣旨デ、總動員業務ナルモノハ直接軍需ノ充足以外ニ擴ガツテ居ル、ソレハ當然ノ結果デアルト考ヘテ居ル次第デアリマス、ソレカラ目的ガハッキリシテ居ラヌデハナйкаト云フ點ヲ御指摘ニナツタノデアリマスガ、是ハ國家總動員上必要アル時ハト言フノデ、此ノ總動員ノ目的以外ニ一步モ此ノ法律ノ運用ハナイノデアリマス、ソレカラ只今第四條ノ徵用ノ規定デ、免除シテ宜シイ人ノ範圍等モ決メラレルノデヤナйка、外國ノ立法例ニハ其ノ點モ先例ガアルト云フ御指摘デアリマシタノデアリマスガ、年齡ノ點ニ付キマシテハ、政府ト致シマシテハ、戰爭ノ規模其ノ他ニ依ッテ色々ノ想定案ハ考ヘテ居ルノデアリマス、例ヘバ第一案トシテ四十歳迄、或ハ五十歳、六十歳ソレカラ年少者ニ付テモ同様ニ色々ノ案ハ考ヘ得ルノデアリマス、併シナガラドノ案ガ具體的ニ宜シイカト云フコトハ、是ハ其ノ時ノ事態ニ依ルノデアリマシテ、若シ如何ナル事態ニモ應ズルヤウニ法律自身ニ書カウトスレバ、其ノ最モ年ノ多イ所迄、例ヘバ六十歳トカ、七十歳トカ云フ所迄書イテ置カナケレバ目的ヲ達シナイコトニナルノデアリマシテ、將來實際ノ場合ニソレ程ヤル必要ガナイノニ、法律ニサウ云フ規定ヲ

置クコトハ目的ニ副ハナイ、寧ロ勅令ニ委任シテ、其ノ時必要ナ最小限度ノ規定ヲ作ツタ方ガ實際的デアリ、又國民ニ不安ナカラシメルノデハナйкаト考ヘテ居ル次第デアリマス、免除規定ニ付キマシテハ、例ヘバ不具癱疾、如何ナル方法ヲ以テシテモ御役ニ立タナイ者ハ免除スルコトハ是ハ當然デアリマスガ、是ハ勿論今度ノ勅令ニサウ云フコトハ書ク豫定デアリマスガ、是ハモウ法律ニ書カウト書クマイト、實際働ケナイ人ハ働カス方法ハナйкаラ、是ハ特別ニ法律ニ書クト云フ意義ハ割合ニ少イノデハナйка、サウ云フ意味デ第四條ノ徵用規定モ政府原案ノ通りノ形ヲ取ツタ次第デアリマス

○塚本清治君 折角總理大臣ガ御見エニナリマシタカラ、モウ少シ精神的ノ御説明ヲ伺フコトガ出來ルカト存ジマシテ、御尋ネ致シマシタノデアリマスケレドモ、今ノヤウナ政府委員ノ御答辯ニナツタヤウナ形式論理ノ御説明デハ、モウ前カラ満足シテ居リマセヌ、例ヘバ軍需工業動員法ニアルソレト同ジ建前……建前ト云フ意味ガ何ノ意味デアリマセウ、恐ラク法律原則ヲ定メテ命令ニ委任スルデヤナйка、ソレト同ジデヤナйкаト云フ意味デセウ、ソレハ分量ノ相違デアリ程度ノ相違デアル、分量程度ガ違ッタナラバ、其處ニ性質上ノ問題ニ波及スル、斯ウ云フコトノ趣旨デ總理ノ精神的、申セバ本當ノ精神的、或ハ國民精神ノ、日本精神ノ上カラ言ッテ如何ニ御考ヘニナツテ居ルカヲ伺ヒタカッタノデアリマスケレドモ、今ノヤウニ形式的ノ説明ヲ總理ガ御認メニナリマスレバ、モウ是以上私ハ伺ヒマセヌ

○委員長(子爵渡邊千冬君) 休憩ヲ致シマス、午後ハ二時カラ開會ヲ致シマス

午後零時二十二分休憩

午後二時二十一分開會

○委員長(子爵渡邊千冬君) 開會致シマス

○松村義一君 午前質問ヲ申上ゲ御答ヲ得タノデゴザイマス、其ノ間總理大臣ガ御出席ニナリマシタノデ、他ノ御質問、御答ガアツタヤウナ譯デ中絶致シマシタノデアリマスガ、私未ダ了解ガ出來マセヌノデ午前ノ質問ヲ續ケタイト考ヘマス、尙私ノ質問ヲ明瞭ナラシムル爲ニ私ノ心持ヲ申上ゲタイト思ヒマス、政府ノ命令ニ委任シナケレバナラスト云フ理由トシテ掲ゲラレテ居リマスモノハ、今此ノ法律ノ中ニ色々規定ガ出來ナイト云フコトノ理由ニハナリマス、其ノ理由ニ付キマシテ私ハ尙政府ノ御答ニ依ッテ了解致シ兼ねテ居リマスガ、兎ニ角サ

ウ云フ理由ヲ掲ゲテアルノデアリマス、併シナガラ命令ニ委任ヲスル、斯ウ云フコトニ付テノ理由ニハナッテ居ラスヤウニ思フノデアリマスガ、私午前ニ申上ゲマシタヤウニ總動員法ヲ豫メ設ケラレマスコトハ必要デアリマス、サウシテ其ノ内容ニ付テハ勅令ニ委任スルト云フノデアリマスガ、勅令ニ委任シナクテ矢張り憲法ノ條規ニ從ッテ、法律ニ依ルモノハ法律ニ依ル、法律命令ノ共同ノ範圍ニ於テハ、政治上法律方宜イト考ヘマスルモノハ法律ニ依ル、命令デ宜イト思ハレルモノハ命令ニスル、命令モ勅令、省令然ルベク政府ノ方デヤラレルト云フ譯デアリマスガ、或ハ法制局アタリノ御考デ法律ヲ作ッテ、其ノ法律ノ内容タルモノヲ又後デ法律ヲ作ルト云フコトハ是ハヲカシイ、サウ云フ先例ハ固ヨリナイ、斯ウ云フ御考ガアルカモ知レマセヌガ、ソレハ從來ノ實際カラ見マシテ、事務的ニ考ヘテサウ云フ御考ノ起ルノハ無理モナイト思フノデアリマスガ、併シナガラ是ハ決シテ惡イコトデハナイ、ヤレルコトデアル、サウシテ何故私共サウ云フコトヲ申上ゲマスカト云フト、先程塚本サンカラモ御話ガアリマシタヤウニ、今回ノ委任命令ナルモノハ極メテ廣汎ナ範圍デアル、人ノ權利自由

ニ對シテ廣ク制限ヲスルモノデアル、其ノ廣ク制限ヲスルコトヲ勅令ニ委任ヲシヨウ、斯クノ如キ廣汎ナル委任命令ノ先例モ亦ナイノデアリマス、政府ハ其ノ例トシテ軍需工業動員法ナドヲ擧ゲテ居リマスガ、是ハマルデ問題ガ違フ、程度ガ違ヒ、性質モ違フト思フ、從ッテ今回ノ法案ニ依ル委任命令ナルモノハ、憲法ノ條規ニ照シテ見マシテ、或ハ違反デハナイカ、少クトモ其ノ大精神ニ違背スルモノデアル、斯様ニ思ハレルノデアリマス、ソレヲ其ノ疑惑ヲ除クガ爲ニハ、矢張り憲法ノ條規ニ依ッテヤラレルコトガ宜イト思フ、更ニ法律ヲ出スト云フコトハ如何ニモ從來ノ例カラナイケレドモ、其ノコトヲスルノガ宜イカ、或ハ此ノ法案ヲ此ノ儘包括的ナ委任命令デアルノガ宜イカ、ドツチガ宜イカ、二者ノ内其ノ一ヲ選ブト云フコトニナル場合ニハ寧ろ憲法違反デアル、憲法ノ精神ニ反スル、斯ウ云フ疑惑ヲ避クル方ガ宜イノデヤナイカ、其ノ方ガ我が憲法ヲ守ル適當ナ方法デハナイカ、法律ノ内容ヲ更ニ法律ニ作ルト云フコトハヲカシイヤウデアルケレドモ、是ハ決シテ差支ナイ、唯如何ニモ無意義ノヤウニ考ヘラレルダケデアルケレドモガ、矢張り豫メ國家總動員法ヲ出スト云フコトガ極メテ必

要デアルナラバ已ムヲ得ヌ、サウ云フ先例ヲ作ラレテモ其ノ先例ニ決シテ違背スルモノデハナイ、寧ろ憲法ヲ遵守スル所以デアアル、斯ウ云フ考ガ私ノ心持デアリマス、私ハ其ノ意味カラ伺フノデアリマスガ、何故ニ命令ニ委任シナケレバナラナイカ、斯ウ云フコトヲ先程カラ伺ッテ居ルノデアリマス、先程司法大臣ハ色々御答ニナリマシタケレドモ、私ノ質問ニ對シテハ御答ヲナスッテ居ラレナイノデアリマス、唯戰時デアアルカラト云フヤウナ御話デアリマシタ、併シ戰時デアアルガ故ニ、平時ナラバ廣汎ナル委任命令ハイカスノデアアルガ、戰時ナラバ廣汎ナ命令デ宜イト云フコトノ理由ハ附カヌト思フ、戰時デアアラウガ、平時デアアラウガ、憲法ノ條規ハ儼トシテ動カスベカラザルモノガアルト思フノデアリマス、憲法ノ大精神ハ動カスベカラザルモノデアルト思フノデアリマス、從ッテ命令ニ委任ヲシナケレバナラスト云フコトノ理由ヲドウカ私ノ理解ノ出來マスヤウニ御説明願ヒタイト思ヒマス

○國務大臣(鹽野季彦君) 委任命令ニ委セル理由ヲ説明セヨトノ御話デアリマスガ、本法案ニ於キマシテハ殆ド各條ニ於テ勅令ニ依ル、即チ委任命令ニ依ルコトガ規定致シテアリマシテ、其ノ數ノ、條文ト共ニ現レマスル關係カラ非常ニ廣汎ニ考ヘラレルノデアリマス、併シナガラ是ハ本法案ヲ成立致シテ居リマスル内容ハ、國家總動員ノ爲ニ單ニ軍需ノ關係ニ止ラズ、民需ノ關係、經濟ノ運行ヲ滑ラカニスル、國民經濟ヲモ安全ナラシムルト云フ方面ヲモ含ンデ居リマスルカラ、法案ノ内容ガ頗ル多クノ事項ヲ含ンデ居ルノデアリマス、即チ勞務デアルトカ、物資、資金、施設、事業、其ノ他宣傳トカ、新聞ニ關スルコトモアリマスルガ、何レモソレ等ノ項目ニ付テハ、多數ノ項目ニ付テハ、之ヲ實行致シマスニ付テ相當多數ノ法規ヲ必要トスルノデアリマス、是等ノモノヲ一ツ法案ノ中ニ纏メマシタ所ハ、即チ總動員計畫ヲ統一のニ綜合シテ一連的ニ國民ニ知ラセルト云フ爲デアリマシテ、ソレニ必要ナル大綱ヲ各本條ニ於テ極メテ、戰時ニ於ケル總動員態勢ト云フモノノ働キ、作用ニ於ケル國家權力ハ斯様ナ風ニ働イテ、國民ニ對シテ是ダケノ幅ノ義務ヲ負ハセルノデアアルト云フコトヲ明確ニ致シテ置キマシテ、サウシテ國民ニ十分ノ心構ト準備トヲ與ヘルト云フノデアリマシテ、其ノ集メラレタル事項ヲ觀マスルト既ニ現行法トナッテ居リマスル軍需工業動員法、昨

年ノ臨時支那事變ニ關スル諸法律、或ハ古ク徵發令等、其ノ他現行ノ法規ノ中カラ大體主ナル事項ガ集メラレテ居ルノデアリマス、統一綜合サレテ居ルノデアリマス、デソレ等ノ現行ノ法規ニ矢張り之ヲ實施スル爲ノ委任命令ガ規定サレテ居リマス、デアリマスルカラ本法モ各條項ニ付キマシテ見マスル時ハ、其ノ委任命令ハ大概慣例トシテ認メテ居リマスル程度ヲ越エタモノデハナイノデアリマス、ソレ等ノ諸法律、竝ニ動員上必要ナル事項ヲ考ヘマシテ、現行ノ諸法律ヲ統制スルト共ニ、稍、廣メニ人民ニ義務ヲ負ハセテ居ルノデアリマス、サウ云フ大綱ガケラ定メテ、之ヲ實行スルニハ、從來ノ各法律ノヤウニ委任命令ニ任セルト云フ建前ヲ執ッテ居ルノデアリマシテ、單ニ各條ニ委任命令ガアルカラ、非常ニ多イヤウナ感じヲ持タレノデアリマシテ、之ヲ御説ノヤウニ本法ヲ實行スルニ付テ法律ニ依ルベシトノ御意見ハ、御意見トシテ拜聴致シマスルガ、矢張り從來ノ例ニ從ヒマシテ委任勅令ニ依ルノヲ相當ト政府ハ考ヘテ居ル次第デアリマス

ハ、ドウモ御答ヲ得テ居ラスヤウニ思フノデアリマス、極メテ懇切ニ御説明ヲ下スッタヤウニ御見受ケ致シマスケレドモ、御答ノ内容ヲ伺ヒマスルト云フト、私ノ質問ニ對スル御答ニハドウモナッテ居ラスヤウニ私ハ考ヘルノデアリマス、デ今御答ニナリマシタコトハ、委任命令ガ廣汎ニナッタ云フ事情、事情話トシカ承レマセヌ、何故ニ必要デアアルカト云フ理由ヲ、私ハ是ハ簡單デ宜シウゴザイマスカラ、明示シテ戴キタイ、ソレガ私ノ質問ノ骨子デアアルノデゴザイマス、ソレカラ尙御答ノ中ニ、大體從來澤山アルノデアアル、其ノ程度ヲ餘リ越シテハ居ラス、稍、廣クナッテ居ル所ガアル、斯ウ云フ御話デゴザイマス、稍、デハ私ハナイト思フ、非常ニ廣クナッテ居ル、政府ハ總テ御話ノ際ニ、初メノ御説明デモサウデゴザイマスガ、大綱ハ是デ決メタノダ、勅令ハ細部ノモノヲ勅令ニ讓ル、斯ウ云フ唯御言葉デゴザイマスケレドモ、是ハ常識ヲ以テ考ヘマスト云フト、細部デハナイノデ、相當ニ大キナ要綱ヲ矢張り勅令デ決メナケレバナラス、ソレハ範圍ニ於キマシテモ、先程ノ御話ノヤウニ稍、廣クナッテ居ルノデハナイノデス、根本的ニ非常ニ廣クナッテ居ル、是ハ私ガ申スダケデハナイ、先

程塚本サンカラモサウ云フ御話ガゴザイマシタ、私モ全然同感ニ考ヘテ居ルノデゴザイマス、其ノ廣イ命令、廣イ範圍ノモノヲ命令ニ委任サレナケレバナラス理由如何、サウシテ斯クノ如ク廣クナルト云フトハ、即チ我ガ憲法ニ違背スルノ疑アリ、我ガ憲法ノ精神ニ違反スルノデハナイカ、斯様ニ思フカラ御尋ネ申上ゲルノデアリマス、委任サレナケレバナラス理由ヲ、モウ少シ明カニ御答ハ出來マセヌデゴザイマセウカ

○政府委員(青木一男君) 何ガ故ニ勅令ニ委任スル必要ガアルカト云フトニ付キマシテ、先程ノ司法大臣ノ御答ヲ敷衍シテ若干申上ゲタイト思ヒマス、先ヅ第一ニ、只今御話ノ如ク戰爭ガ始シテカラ臨時議會ヲ召集シテ、法律ヲ制定スル方ガ宜シイデハナイカト云フ御話ガアッタノデアリマスガ、此ノ國家總動員法制定ノ一ツノ大キナ眼目ハ、戰爭ノ初期ニ於テ最モ必要ナル諸種ノ對策ヲ直チニ執リ得ル、臨時議會ノ召集ヲ待タズシテ執リ得ルト云フ所ニ非常ナ眼點ガアルノデアリマス、御承知ノ通り近時ノ戰爭ハ戰爭ノ初期、立上リガ非常ニ大事ナノデアリマス、其ノ時ニ臨時議會ノ召集ヲ俟タズシテ政府ガ適切ナル措置ヲ執リ得ルト云フトガ、此ノ國家總動員法ノ大キナ眼目ノ一ツデアリマス、次ニ此ノ法律ヲ極ク概略ナモノニシテ置イテ、ソレダケデハ働ケナイ場合ニ、更ニ法律ヲ以テ之ヲ補フコトガ宜イデハナイカト云フ御話ガアリマシタガ、是ハ先程モ御指摘ノ如ク、我ガ國ニ於テハ餘リ先例ノナイ行キ方ト思ヒマス、ソレデ政府ト致シマシテハ從來ノ例ニ依リマシテ、此ノ法律ソレ自體ノ系統ニ於テ完全ナル法規ヲ制定ス方ガ宜シイト云フ考方デアリマス、次ニ午前中申上ゲタト思ヒマスガ、昨年ノ臨時議會ニ於ケル諸種ノ臨時立法ハ、今次ノ事變ダケニ適用スルコトヲ目的トシテ制定サレタノデアリマス、即チ換言スレバ、法ノ制定ノ對象トナルベキ事項ノ見透シト云フモノガ、恆久法デアアル本法ヨリ遙カニ附キ易イ事態ノ下ニ制定サレタノデアリマスガ、而モ尙殆ド國家總動員法ト同ジャウニ命令ニ委任サレテ居リマス、是ハ矢張り戰時ノ對策ト云フモノハ、一々法律ニ規定スルコトハ事情ニ適シナイ、矢張り或程度以上ハ、命令ニ委任スルノガ目的ニ適スルト云フトコトヲ、矢張り證明シテ居ルモノデハナイカト考ヘマス

○松村義一君 政府委員ノ御答モゴザイマシタガ、矢張り私ニ對スル御答ニハナッテ居ラヌト思ヒマス、初期ニ於テ對策ヲ講ズ

ル爲ニ臨時議會ヲ召集スルコトハ困難デア
ルト云フコトガ一ツ御話デゴザイマシタガ、
若シ召集スルニ違ナケレバ憲法第八條ニ依
ラレタラソレデ宜イデヤナイカ、チットモ惡
イコトハナイ、急ゲバ、之ニ對應スルダケ
ノ措置ハ我ガ憲法デハチャント出來テ居
ル、サウシテ先例ヲ言ハレマスガ、今回ノ
如ク廣イモノデハナイノデアリマス、全ク
違フノデアリマス、唯今度ハ軍事、民事、
總テニ互ルカラ廣クナッタノダ、以前ハ軍事
ダケデアッタカラ狭カッタノダ、ソレハ事情
デアリマス、廣イコトガ即チ我ガ憲法ノ精
神ニ反シヤシナイカ、斯ウ云フコトヲ私共
ハ考ヘルノデアリマス、從ッテ普通ノ憲法ノ
條規ニ從ッテヤラレタラ宜カラウ、斯様ニ考
ヘルノデアリマス、而モ此ノ法案ヲ見マスルト、
重要ナル問題ヲ審議スル爲ニ審議會ヲ開ク、
審議會ノ議ニ付スル、是ハ私ハ意見デゴザ
イマスルカラ、只今詳シク申上ゲマセヌガ、
非常ニ惡例ダと思フ、我ガ國ノ憲法ヲ蹂躪
スルヤウナ惡例ヲ作ルモノダ、實ニ惡イ規定
ダ、五十條ノ規定ハ實ニ惡イ規定ダ、斯様ニ
思ヒマスガ、兎ニ角ソレハ意見デゴザイマス
カラ別ニ御尋ハ致シマセヌ、サウ云フ審議
會ニ御掛ケニナル、ソレヨリハ樞密院ニ御掛
ケニナッタ方ガ早イ、斯ウ考ヘルノデアリマス、

是以上問答ヲ續ケマス、ドウモ御答ヲ得
ラレマセヌと思ヒマスカラ、私更ニ質問ハ
續ケマセヌガ、尙政府ガ本當ニ此ノ法案ヲ
通ス爲ニ、我々委員ノ了解ヲ得ヨウト云フ
極メテ眞摯ナル御誠意ガゴザイマスナラバ、
モウ少シ詳シイ御説明ヲ伺ヒマス、併シソ
レガゴザイマセヌナラバ、已ムヲ得ヌ、私、
此ノ儘政府ノ御答ハ了解出來ヌモノデア
ル、斯ウ云フ譯デ質問ヲ打切ル外ナイノデア
リマス

○政府委員(青木一男君) 重ネテノ御尋ニ

一應御答ヘ申上ゲタイと思ヒマスガ、戰爭突
發等ノ場合ニ、急グ場合ハ緊急勅令デモ宜
イデハナイカト云フ御趣旨ニ伺ッタノデア
リマシテ、勿論ソレモ一ツノ行キ方ト考ヘ
マス、又我ガ國ノ先例モアル所デゴザイマ
スガ、併シ戰時ニ際シマシテ軍事充足、或
ハ國民生活確保等ノ目的ノ爲ニ、國家トシ
テハドノ位ナコトヲシナクチャナナイカ
ト云フコトノ大體ノ見透シハ、本法ニ規定
スルガ如ク附ケ得ルノデアリマスカラ、其
ノ程度ノ立法ハ矢張り豫メヤッテ置イタ方
ガ緊急勅令ヲ奏請スルヨリモ宜シイ、又先
例モアルノデアリマスカラ、其ノ方ガ宜シ
カラウト云フ見地カラ來ルノデアリマス、
ソレカラ範圍ガ廣クナルト、結局狭イ場合

ニハ宜シイコトデモ憲法上不都合ニナッテ
來ルノダト云フ點ニ付キマシテハ、御疑問
ノ點ガ大體法律自體ニ規定スル程度ガ簡略
ニ失スルカライケナイ、モット詳シク法律自
體ニ書イテ置カナクチャイケナイト云フ點
ト、ソレカラ法律ノ規定ノ對象タルベキ目
的物ガ廣クナッテハイケナイノデアアルト、此
ノ二ツノ問題ハ違フト思フノデアリマシテ、
前者、即チ法律自體ニ書キマシタル程度ト
云フモノハ、先刻モ申上ゲマシタ如ク今回
ノ國家總動員法ノ規定ノ程度モ、從來ノ例
デアリマスル軍需工業動員法、或ハ昨年
ノ臨時諸立法ト差異ガナイヤウニ私共ハ見
受ケルノデアリマス、違ヒハ此ノ規定ノ對
象タル事項、或ハ目的物ノ範圍ニナルノデ
アリマス、御趣旨ニ依リマスレバ、只今ノ
軍需工業動員法ノ如ク、或ハ軍需品、或ハ
軍需工業、サウ云フヤウナ事項ノ範圍ハ問
題ハナイ、現行法ニアルノデアアルカラ問題
ナイ、然ルニ今回ノ法律ノヤウニ廣クナル
ノハイケナイト云フ第二點ニ若シ重點ガア
ルト致シマスレバ、ソレハ午前中首相ヨリ
モ御述べノ如ク、今日ノ戰爭ハ單リ軍事ノ
充足ダケデハ逆モイケナイ、矢張り國家ノ
經濟組織ナリ、國民生活全部ノ確保ト云フ
コトガ伴ッテ行カナケレバ戰爭ニ勝テナイ、

其ノ目的ヲ達シナイト云フ所カラ矢張り軍
事ノ充足ト同ジ程度ニ、國家ノ統制力ヲソ
コ迄持ッテ行ク必要ガアルト云フ見地カラ
來ルノデアリマシテ、若シ今日ノ軍需工業
動員法ニ於テ軍事ノ充足、或ハ軍需工業ノ
管理等ニ於テ、若シ是認セラレラナラバ、
今回ノ如ク範圍ガ擴ガリマシテモ、御了解
ヲ得ウルコトト考ヘテ居ル次第デアリマス

○松村義一君 了解ヲ得ウルト云フ御話デ

ゴザイマスガ、了解致シマセヌ、明瞭ニ申
上ゲテ置キマス、併シ幾ラ質問ヲ繰返シマ
シテモ私ノ何故ニ命令ニ委任スルカト云フ
コトニ付キマシテノ御答ハドウモ得ラレヌ
ヤウデゴザイマスカラ、又質問ヲ致スカモ
知レマセヌガ、只今ハ一應質問ヲ終ルコト
ニ致シマス

○白根竹介君 此ノ國家總動員法ノ發動ス

ル時機ニ關係スルノデゴザイマスガ、大體
先程來ノ、先日來ノ説明デ軍需工業動員法、
或ハ支那事變關係ノ臨時立法ト云フヤウナ
モノハ當然此ノ法律ガ發布サレタナラバ同
時ニ又從來通りニ施行セラレ、ソレカラソ
レ以外ノ事柄ハ大體今後ノ情勢如何ニ依ル
ノダ、今後ノ情勢如何ニ依ッテハ此ノ法律ガ
制定サレマシテ發布サレマス云フト、只
今申上ゲタ二點以外ノモノニ付テ勅令ガ出

ルト云フ譯デアリマスガ、今後ノ情勢ト云フモノガ、是ハ政府ノ立法的ノ認識ニ掛カルコトデアリマシテ、現在只今ニ於キマシテモ、或ハ考方ニ依ッテハドウモ國家總動員法ノ第十一條ニ對スル勅令ヲ出サナクチャナラヌト云フ風ニ理窟附ケラレルコトガナイデモナイト思ヒマスシ、又戰捷ノ目的ヲ達スルト云フ大キイ目カラ見マスレバ、近キ將來ニ於テ甚ダ不幸ナコトデアリマスケレドモ、公債ノ公募ガ出來ナイ、或ハ戰爭ニ要スル資金ガ足りナイトカ、外國貿易ガ行詰ッテ居ルト云フヤウナ關係デ、非常ニ不幸ナ事態ガ起キタ場合ニ、又起キムトスル場合ニ何等ノ警告ナク此ノ法律サヘ通ッテシマヘバ直グサウ云フ恐シイ勅令ガ出ルノデアルト云フ風ニ考ヘテ宜シイノデゴザイマスカ、其ノ邊ヲチョット承リタイト思ヒマス

○國務大臣(鹽野季彦君) 御説ノヤウニ本法ノ實施サレマスル時機ニ付キマシテハ宣戰ノ布告ニ依ッテ發動スル場合アリ、宣戰ノ布告ナクシテ發動シマスル必要ナル場合ハ勅裁ヲ仰イデ之ヲ發動スルト云フコトニナッテ居リマスガ、諸テ本法ガ成立致シマシテ之ヲ實施スル運ビニナリマス、本法ノ附則ニ依リマシテ軍需工業動員法關係

ノ部分ハ直チニ實施サレルコトニナリマス、其ノ他ノ分ニ付キマシテハ現ニ支那事變ニ關スル諸法律ガゴザイマスルカラ其ノ法律ヲ只今實行致シテ居ルノデアリマス、其ノ程度デ現在ノ情況ニ於テハ足り得ル、今後事情ガ變更シテ來レバ本法ノ各條ニ付テ必要ナルモノヲ實行シテ行ク、斯ウ云フマア建前ニナッテ居ルノデアリマシテ、ソレデヤドウ事情ガ變更シテ、ドウナルカト云フコトハ、是ハ只今ヨリ申上ゲルコトガ出來ナイノデアリマス、目下政府ト致シマシテハ之ヲ此ノ際實行シテ行ク必要ハナカラウカト思ッテ居リマス

○白根竹介君 私ハ非常ニ不安ニ思ッテ居ルコトハ、結局今後ノ事態ノ推移ト云フ問題デアリマスガ、其ノ事態ノ推移ナルモノガドウ云フ時ニ、是ハ押付ケテ聽イテ見タ處ガ、具體的ノ御話ハ出來ナイ譯デアリマスケレドモ、唯言葉ヲ換ヘテ言ヘバ斯ウ云フ強力ナ法律ガ發布サレマス云フト、アベコベニ却テサウ云フ事態ヲ促進スルヤウナ處ガ起キハシナイカト云フコトヲ心配シテ居リマス、併シ是ハ唯杞憂ニ過ギナイト思ヒマスガ、私自身トシテハ非常ニサウ云フ心配ヲ懷イテ居ルノデアリマス、此ノ點ハ只今デナクテモ亦後日緩ックリ懇談的ニ

御話ヲ承リタイト思ヒマス、私ノ質問ハ之ニ止メテ置キマス

○山隈康君 只今ノ御質問ニ牽聯シタ問題デアリマスガ、本法ノ實施ニ依リマシテ軍需工業動員法ニ關スル部分ハ直チニ施行ス、更ニ此ノ本法ヲ施行スルニ付テハ宣戰ノ布告若シクハ勅裁ヲ仰ガナケレバナラス、聞ク所ニ依リマスルト、支那事變ニ對シテハマダ勅裁ヲ仰イデナイカニ承ッテ居リマスルガ、ソレデモ直チニ此ノ部分ダケハ施行ガ出來ルト解スルコトガ出來ルノデアリマスカ

○政府委員(青木一男君) 今時ノ事變ガ本法第一條ノ戰爭ニ準ズベキ事變デアリマスルコトハ昨年ノ臨時議會ニ於キマシテ軍需工業動員法ヲ今度ノ事變ニ適用スルト云フ法律ヲ制定サレタ意味竝ニ本法附則ニ於キマシテ軍需工業動員法ヲ廢スルト云フ規定ヲ置キマシタ意味、之ガ即チ日支事變ガ本法第一條ノ戰爭ニ準ズベキ事變ニ該當スルト云フコトヲ、法律自ラサウ云フ解釋ヲ下シタモノト解シテ居リマス

○委員長(子爵渡邊千冬君) 伊澤君ハ司法大臣以外ノ大臣ニ御質問アルヤウニ承リマシタガ、此ノ際御質問アリマセヌカ、アレバ出席ヲ要求シマス

○伊澤多喜男君 サウ願ヘバ結構デアリマス

○委員長(子爵渡邊千冬君) 何大臣ニ……

○伊澤多喜男君 總理大臣ニ先ヅ伺ヒマス

○委員長(子爵渡邊千冬君) 總理大臣ニハ今要求シテアリマスケレドモ、今衆議院ノ委員會ニ居ラレルサウデアリマス、濟ミ次第御出デラ願フコトニ致シマス

○伊澤多喜男君 私ハ成ルベク皆様ノ御質問ヲ伺ッテ、サウシテ自分ノ分ラヌ時ニ質問スル積リデ居リマシタケレドモ、此ノ際一應伺ヒマスガ、先刻松村君及塚本君カラシテ述ベラレタヤウナコトニ、私ニモ其ノ勅令ノ規定ニ依ルト云フ所謂委任命令ニ委ネナケレバナラスト云フ意味ガ少シモ分ラヌノデアリマス、今司法大臣カラ御述ニナッタコトヲ伺ッテモ少シモ分ラヌノデアリマス、ソレデ少シ違フ方面カラ伺ッテ見マスガ、詰リ總理大臣其ノ他ノ御説明ニ依ルト云フト、要スルニ急速機敏ト云フヤウナコトト言ヒマスカ、所謂戰爭ノ千變萬化スル情況ニ即應スル爲ニハ斯ウ云フ方法デナクチャナラス、斯ウ云フ風ニ大體見ラレルノデアリマスガ、ソレデ先ヅ伺ヒタイノハ、矢張り審議會トノ關係デアリマス、樞密院ニ掛ケルコトハ、例ヘバ緊急勅令ヲ出サウトシテモ、

樞密院ニ掛ケテハ急ニ行カナイカラト云フ意味ダラウト思ヒマスカ、行カナイカラシテ、ソレデ……審議會ニハ併シ掛ケル、斯ウ云フコトニナルト私共ニハチョット分ラヌノデスガ、結局私ノ間ハドウ云フコトカト云フト、審議會ニハ掛ケラレルシ、普通ノ憲法ニ言ウテ居ル所ノ八條ノ規定ニ依ッテ樞密院ニ掛ケルコトハ出来ナイノダト云フ理由ハ何處ニアルカ、ソレヲ伺ヒタイ

○國務大臣(鹽野季彦君) 樞密院ニ本法制定ニ付キマシテ御諮詢ノ奏請ヲ致シマセヌノハ……

○伊澤多喜男君 イヤ、チョット待ッテ下サイ、私ノ言ヒ方ガ足りナカッタカモ知レマセヌ、私ノ申シテ居ルコトハ、當リ前ノ立法手續デ行クナラバ、樞密院ニ兎ニ角緊急勅令トシテ掛ケルノハ當リ前、又必ズサウショウト云フコトヲ考ヘナクチャナラス、處ガソレガ何故ニサウセヌカ、何ガ故ニサウセヌカト言ヘバ、兎ニ角大體急グカラ、斯ウ云フ風ニ聞ユルノデス、アナタ方ノ御説明ガ……ソコデ私ハ無論國民ノ權利ト云フコトニ非常ナ大キナ關係ガアッテ、我々ノ兎ニ角憲法ニ於テ保障サレテ居ル國民ノ權利ト云フモノヲ殆ド全部ヲ取上ゲテ行政權ニ持ッテ行ケ、斯ウ云フ是ハ案ナンデスカラ、

先刻カラ稍、トカ何トカ言ハレマスガ、稍、デモ何デモアリマセヌ、殆ド百分ノ百迄國民ノ憲法ニ保障サレテ居ル權利ヲ皆取上ゲラレテ行政權ニ委ネル、是ガ此ノ法案ナンデス、ソコデ私ガ伺フノハ、私ハ大體國家總動員ト云フモノニハ反對デアリマセヌ、反對デナイノミナラズ、此處ニモ居ラレマスガ、大島健一君ガ陸軍次官ヲセラレテ居ル時ニ熱心ニ之ヲ唱道サレテ、私ハ當時大隈内閣ノ警視總監ヲシテ居ッテ、之ニ相當ノ贊意ヲ表シタノデアリマス、非常ニ總動員ト云フモノガ成立スルニハ熱心デアリマス、熱心デアリマスケレドモ、何ガ故ニ斯ウ云フ兎ニ角殆ド全部ヲ委任立法ニスルカト云フコトニ付テ分ラナイノデアリマス、ソレデ私今伺ッテ居ルコトハドウ云フコトカト

言ヘバ、要スルニ急グ場合ニハ樞密院ニハ掛ケラレヌト云フコトデアラウト思ヒマスカラ、ソレナラバ何故審議會ニ掛ケルカ、斯ウ云フコトヲ伺ッテ居ルノデアリマス

○國務大臣(鹽野季彦君) 本法ハ樞密院ニ掛ケル必要ナイト政府ハ考ヘテ居ルノデアリマス、緊急勅令ノ御話ガ出マシタガ、緊急勅令ハ豫メ豫測シ得ナイ事情ガ發生致シマシテ、法律ノ制定ヲ爲ス暇ガナイ時ニ急ニ緊急勅令ヲ以テ法律ニ代ル法規ヲ定メル

ノデアリマスカラ、戰時ニ於ケル總動員態勢ト云フモノハ豫メ想定ノ出來ル部分ニ付キマシテ、即チ大綱ニ付キマシテハ豫メ之ヲ定メテ置クコトガ出來ルノデアリマス、之ヲ定メマスノハ立法手續ニ依ッテヤルノガ正當トノ考カラ本法ガ出來タノデアリマス、尙又國民ノ自由財産ノ百「パーセント」モ本法ニ依ッテ縛ルヤウナ御話デアリマシタガ、本法ノ關係スル部分ト云フモノハ左様ニ廣イモノデモナイノデアリマシテ、尤モ財産權ニ關スル範圍ニ於テハ廣イノデアリマスケレドモ、他ノ人民ノ持チマスル權利義務ニ付キマシテハ多分ニ餘裕ノアルモノト考ヘテ居リマス

○伊澤多喜男君 私ノ言ヒ方ガ非常ニ惡イノデ、御分リニナラスヤウデ残念デスガ、要スルニ此ノ本法ニアリマス「勅令ノ定ムル所ニ依リ」ト云フノハ、是ハ要スルニ法律ニ代ル命令デアッテ、他ニモアルノデス、ソレデアルカラシテ兎ニ角憲法ニハ何ト書イテアルカト言ヘバ、要スルニ我々ノ權利ト云フモノハ法律ニ依ラナケレバ兎ニ角ドウスルコトモ出來ヌト書イテアル、保障サレテ居ル、ソレヲ何故一體當リ前ノ立法手續ニ依ッテ御ヤリニナラスカト云フコトガ私モ今伺ッテ居ルノデスシ、ソレカラシテ先刻カ

ラシテ塚本君モ松村君モ皆ソレヲ伺ッテ居ルノデアリマス、一向要領ヲ得マセヌカラ、ソレデハ別ノ方向カラ聽イテ居ルノデス、ドウ云フコトカト言ヘバ、詰リ例ヘバデスヨ、例ヘバ此ノ法律ト云フモノガデス、松村君ハ之ヲ四本ノ柱ガ立ッタト云フ風ニ言ハレテ居ルケレドモ、私ハ實ハ四本ノ柱ガ立ッタトハ思ハナイ、要スルニ之ニ書イテ居ルコトノ大部分ハ所謂睡眠狀態ニアルト思ヒマス、勅令ノ規定ヲ俟ッテカラニ始メテ是ガ動キ出ス、ソレダカラ言フナラバ之ヲ總則ト言ヒタイ、總則ニモ實ハナッテ居ラス、ナッテ居ラスケレドモ、假ニマア總則トスレバ、各論ト云フモノハ、各論ヲヤル時ニハ所謂別ノ法律デヤルノガ當リ前デヤナイカト云フ風ニ私ハ考ヘテ居ル、ソレダカラ斯ウ云フヤウナ風ニ兎ニ角殆ド百分ノ百迄ノモノヲ權利ヲ奪ッテシマフモノヲ何故普通ノ立法手續ニ依ッテヤラナイカ、要スルニ若シヤルナラバモットズット細カニスベキモノデアアルシ、ソレカラ若シヤソレガ今ノ千變萬化デ足ラナカッタナラバ、其ノ時ニハ緊急勅令デヤッタ宜イデヤナイカ、ソレデ何故一體緊急勅令デヤラスカト云フト、急グカラト言フ、急グカラシテ、ソレナラバ一體審議會ニ掛ケルノハドウ云フ譯

ダ、之ヲ私ハ聴イテ居ルノデス

○國務大臣(鹽野季彦君) 立法事項ニ付キマシテハ本法ニ依ッテ之ヲ決メテアル、其ノ立法事項ヲ實施スル爲ニ明確ニスル部分ヲ命令ニ讓ッテアル、デアリマスルカラ命令ハ此ノ法律ノ内容デアリ、而シテ命令ガ定ッテ後ニ始メテ活動ヲスルト云フコトハ御説ノ通りナンデアリマス、ソコデ其ノ内容ガ今ヨリ定メラレザルモノモアル、ソシテ急グ場合ニ尙審議會ナドニ掛ケテ居ル、サウ云フ餘裕ガアルナラバ前カラ掛ケタラ宜イデハナイカト云フ御趣意ニ承リマシタガ、勿論只今ニ於テハソレハ豫測ガ出來ナクデモ、愈々戰時ニ接近シテ參リ、敵國ノ情勢ガ略々確定シテ來ルト云フ情態ニ於キマシテ、豫メ此ノ委任命令ヲ作ラナケレバナラナイノデアリマスルガ、其ノ場合ニ於キマシテ審議會ニ掛ケル餘裕ハアルト考ヘルノデアリマス、尤モ其ノ事項ニ付キマシテハ極ク重要ナル軍機、或ハ實行ノ方針トカト云フヤウナ手續ノコトニ付テ掛ケルノデアリマス、審議會ニ掛ケル餘裕ガアッテ、立法ガ出來ナイノハヲカシイト云フ御疑問モ……其ノ邊デ御了承ヲ願ヒタイト思ヒマス

○伊澤多喜男君 ドウモ私ノ申上ガ方ガ惡

イト見エテ國務大臣ノ御答ガ少シモ要領ヲ得マセス、ソレデ得マセヌカラ私ハ多分斯

ウ云フコトダラウト云フ風ニ想像シテ伺ヒマス、要スルニ政府ハ樞密院ニ掛ケルト云フコトハ兎ニ角色々ムツカシイコトヲ言フカラシテ樞密院ニ掛ケナイノダ、サウシテ自分ノ好ム所ノ、自分ノ何ト云フカ……選ンダ所ノ御都合ノ好イ審議會ヲ作ッテ、サウシテ之ニ唯原案贊成ヲヤラセルト、斯ウ云フ氣持デ御作りニナルモノト私ハ了承シマシガ、ソレデ宜シウゴザイマスカ

○國務大臣(鹽野季彦君) 御尋ノ樞密院ニ掛ケルト云フコトガ私ニハ能ク分ラナイノデゴザイマスガ、本法ハ樞密院ニ掛ケナイト云フ建前デ出來テ居ルノデ、樞密院ニ掛ケルコトガ厭ダカラソレヲ避ケルノデハナクシテ、性質上掛ケベキモノデハナイト斯ウ考ヘテ居リマス

○伊澤多喜男君 サウスルト云フト是ハ立法手續ニ依ルベキモノデハナイト、斯ウ云フコトデスカ、普通ノ立法手續ニ依ルベキモノデハナイト、斯ウ云フコトデスカ

○國務大臣(鹽野季彦君) 普通ノ立法手續ニ依ルベキモノト考ヘテ居リマス

○伊澤多喜男君 ソレナラバ普通ノ立法手續ハ我が憲法デハ議會ニ掛ケルカ、若シ其

ノ違ガナイ時ニハ樞密院ニ御諮詢シテ、サウシテ緊急勅令デ出ルト云フコトニナルノデスカ、……ソレデアルカラ私ハ聴イテ居ルノデス

○國務大臣(鹽野季彦君) ソレデ目下議會ノ御協賛ヲ求メテ居ル次第デアリマス

○伊澤多喜男君 ソレデ我々ハ今議シテ居ルノデス、ソレデ我々ハ議シテ居ルノダカラ、唯是ハアナタガモウ決ッタ如クニ仰セラレルト……我々ハ兎ニ角議員トシテソナコトヲ伺ッテ居ルノデハナイ、今議シテ居ル、是ハ一體普通ノ立法手續ニ依ッテヤルベキモノダ、ソレガ出來ナイト言フ、出來ナイト言フカラシテ何故出來ナイカト聴イテ居ル、サウシテ此ノ建前ハサウ云フコトヲシナイノダト言ッテ居ル、ドウ云フコトデスカ、ソレデ説明ニナリマスカ、説明ニナラヌデヤナイデスカ、ソレカラ尙伺ヒマス、先刻伺ッタコトデ、此ノ總動員法デ兎ニ角行政權ニ何ト言フカ取上ゲルト云フ言葉ヲ使フノガ一番宜イデセウガ、取上ゲルノハ兎ニ角我々ノ權利ニ於テハ餘計デヤナイノダ、誠ニ僅カナンダ、斯ウ云フ風ナコトヲ大體司法大臣ハ前カラ言ッテ居ラレマス、稍、ト云フ言葉ヲ使ッタリ何々スルト言ウタリ、處ガ我々ハサウ思ッテナイ

ノデス、私ハ殆ド大部分或意味カラ言ヘバ百分ノ百ニ近い、併シ百分ノ百ト言ヘバ私ハ語弊ガアルカラ……ソレデ伺ヒタイコトハ一體例ヘバ信教ノ自由トカ、ソレカラシテ裁判權ノ委任トカ、斯ウ云フコトハ私ハ問題ニシテ居リマセヌガ、我々ノ兎ニ角憲法デ保障サレテ居ル第二章ニ書イテアル所謂權利、普通言ウテ居ル所ノ我々ノ頭ニ考ヘテ居ル權利ト云フヤウナモノハ殆ド全部取ラレルト思フノデアリマスガ、一體其ノ後ニ何ガ残りマスカ、ソレヲ伺ヒタイ、今ノ信教ノ自由トカヤレ何トカ文武官ニ任ゼラレルトカ、ソレカラ義務ノコトハ無論要ラナイノデスカラシテ、一體何ガ残りカト云フコトヲ聴イテ居ルノデス

○國務大臣(鹽野季彦君) 憲法第二章臣民ノ權利義務ノ承認ニ付キマシテ臣民ノ義務ヲ除キマシタ後ニ於キマシテ第二十二條居住移轉ノ自由、之ニ觸レルモノガ本法ノ第四條ニ此ノ臣民ノ徵用ト云フコトガアリマスケレドモ、居住移轉ノ自由ノ全部ヲ侵害シテ居ル譯デモナイ、其ノ次ハ二十三條ノ逮捕監禁審問處罰ヲ受クルコトナシ、是モ本法ニハ關係ガナイ、ソレカラ二十四條裁判、是モ關係ガナイ、ソレカラ二十五條、住所ノ侵入及搜索、之ニ付キマシテハ本法

三十一條ノ検査ガアリマスルガ、其ノ以外ハ住所ノ安全ト云フコトガ保障サレル、ソレカラ二十六條ノ信書ノ秘密、是モ全部殘ル譯デス、第二十七條所有權ノ問題ニ付キマシテ本法ハ第八條第十條、第十一條、第十三條、第十六條等ガ此ノ二十七條ノ所有權即チ財産權ニ對スル束縛ニナル、二十八條ノ信教ノ自由ハ其ノ儘殘リマス、二十九條言論ノ、著作印行集會結社ニ付キマシテハ言論集會ハ束縛ヲ受ケナイデ居ル譯デアリマス、第三十條ノ請願權モ其ノ儘殘ル譯デアリマス

○伊澤多喜男君 只今國務大臣カラシテ御答ガアリマシタガ、此ノ二十二條ニ付テモ此ノ運用ノ仕方ニ依ッテハ私ハ殆ド自由モ何ニモナイノダ、運用ノ仕方ニ依ッテハ如何様ニモナル、斯ウ云フヤウナ風ニ、私ハ大體考ヘテ居リマス、ソレカラ二十三條ハ關係ハナイデセウ、二十四條モ、是ハソッチノ方デナイカラ……ソレカラシテ二十五條モ私ハ運用ノ仕方ニ依ッテハ殆ド全部要スルニ蹂躪サレルノダ、斯ウ考ヘテ居リマス、デ信教ノ自由ト云フコトモ、是モデス、運用ノ仕方ニ依ッテハ、私ハ是モ侵サレ得ルト思ヒマス、ソレカラ一番大切ナ二十七條デスガ、是ハモウ殆ド全部デス、全部ガ侵

サレル、二十六條ハ間違ヒマシタ、二十六條ハ信書ノ秘密デスガ、之モ相當私ハ侵カサレルト思ヒマス、運用ノ仕方ニ依ッテハ……ソレカラ二十八條、是ハ一番人ノ信教ノ自由デスカラ、腹ノ中デ考ヘテ居ルコトダカラ、ナカ／＼侵シニクイコトダガ、是ハ此ノ運用ノ仕方ニ依ッテハ、侵シ得ナイコトハナイト思フ、デ二十九條モ亦然リデス、サウ云フヤウナ風ニ、私ハ間違ッテ居ルカモ知レナイケレドモ、殆ド我々ノ憲法保障サレテ居ル所ノ權利ト云フモノハ、殆ド大部分ハ今度ノ法律ニ依ッテ侵サレルノダ、サウ云フ時ニ、ソレヲ今ノ通り普通ノ立法手續ニ依ラズニ、斯クノ如キ委任命令ノ形式ニ依ッテヤラウト云フノニハ非常ニ重大ナ理由ガナクチャナリマセス、處ガ、鹽野國務大臣ノ御説明ニ依ッテハ、何ニモ我々共ハ得ルコトハ出來ナイノデアリマス、デ只今總理大臣ガ御出席ニナリマシタカラシテ、今ノ問題ニ付テモ御答ガ願ヘレバ結構デアリマスケレドモ、途中カラ御聴キニナッタノダカラ如何カト思ヒマスカラ、若シ總理大臣カラ御答ガ出來マスレバ、大層結構デゴザイマス

○國務大臣(鹽野季彦君) 成ル程御説ノヤウニ極端ニ本法ヲ運用シタラバ、大分臣民ノ權利モ相當束縛セラレルコト大ナルモノガアリト云ヘルノデアリマス、併シナガラ本法ハ左様ニ極端ニ此ノ臣民ノ自由財産ヲ束縛スルト云フ趣意ハナイノデアリマシテ、成ルベク必要ノ程度ニ於テ之ヲ實施シタイ、其ノ爲ニ各本條ニ於キマシテハ義務ノ全體ヲ現シテアリマス、ケレドモ之ヲ實施スルニハ勅令ノ定ムル所ニ依ルト、チヤント其ノ程度方法ヲ明確ニシテ、サウシテ實施致ス、其ノ明確ニスル必要ハ實際ノ戰時ニ接近シテ參リマス、具體的ニ決メルコトガ出來ル、詰リ戰爭ノ規模、對手國等ノ決ツタ際ニ於テ、ドノ程度ニ之ヲ使フカ、斯ウ云フコトニナルノデアリマシテ、法文ノ書キ方ト致シマシテハ、兎ニ角戰時ト云フ重大ナル際ニ處スルノデアリマスカラ、先ヅ斯ウ云フ種類ノ義務ハ臣民ハ負ハナケレバナラヌゾト云フ大綱ヲ此處ニ示シテ居ルノデアリマス、而シテソレヲ大綱ヲ二十簡條ニ互リマシテ書イテアリマス、ソコデ非常ナ大キナ制限ヲ與ヘルモノヲ普通ノ此ノ立法手續デヤルノハ宜シクナイノデハナイカト云フ御趣意ノヤウデアリマスルガ

ハ其ノ重要ナモノデアルカラ、樞密院ノ御諮詢ヲ奏請シナケレバナラスト云フヤウナ御趣意ヲ伺ッタノデスガ、果シテサウデアリマスナラバ、本法ハ、既ニ本法ハ之ヲバラニ致シマシテ、勞務ナリ、資本ナリ、事業ナリト云フモノニ限ツタ一ツ立法ヲ致シテ見マスルト、丁度昨年ノ支那事變ニ關スル臨時立法ト云フ形ニナル、或ハ輸出ニ關スルモノ、或ハ資金ノ調整ニ關スルモノ、或ハ船舶ニ關スルモノト斯ウ別々ニナリマス、皆何等差支ヘナク、普通ノ立法手續ニ依ッテ出來ルノデアリマス、唯ソレヲ一ツニ斯ウ統合シ、統一綜合シタノガ本法デゴザイマシテ、性質上運用ノ手續ニ依ッテ然ルベキモノト考ヘテ居ルノデアリマス

○伊澤多喜男君 ソンナコトハ云ヒマセスヨ、違ヒマスヨ

○國務大臣(鹽野季彦君) サウデスカ、是

○委員長(子爵渡邊千冬君) 伊澤君ニチヨット御伺ヒシマスガ司法大臣ノ答辯ト伊澤君ノ質問ハ喰ヒ違ッテ居ルノヂヤナイカ、私ノ了解シタコトヲ試ミニ司法大臣ニ申シテ見タイト思ヒマスガ、宜シウゴザイマスカ、違ッテ居リマシタラ、御直シヲ願ヒマス

○伊澤多喜男君 ドウゾサウ願ヒマス

○委員長(子爵渡邊千冬君) 先刻カラ伊澤君ト司法大臣ト質問應答ヲ伺ッテ居リマスト云フト、司法大臣ハ伊澤君ノ質問セラレル要點ヲ能ク擷ンデ居ラレナイノデハナイカト

ハ其ノ重要ナモノデアルカラ、樞密院ノ御諮詢ヲ奏請シナケレバナラスト云フヤウナ御趣意ヲ伺ッタノデスガ、果シテサウデアリマスナラバ、本法ハ、既ニ本法ハ之ヲバラニ致シマシテ、勞務ナリ、資本ナリ、事業ナリト云フモノニ限ツタ一ツ立法ヲ致シテ見マスルト、丁度昨年ノ支那事變ニ關スル臨時立法ト云フ形ニナル、或ハ輸出ニ關スルモノ、或ハ資金ノ調整ニ關スルモノ、或ハ船舶ニ關スルモノト斯ウ別々ニナリマス、皆何等差支ヘナク、普通ノ立法手續ニ依ッテ出來ルノデアリマス、唯ソレヲ一ツニ斯ウ統合シ、統一綜合シタノガ本法デゴザイマシテ、性質上運用ノ手續ニ依ッテ然ルベキモノト考ヘテ居ルノデアリマス

思ヒマス、其ノ證據ニハ、伊澤君ハ何故普通ノ立法手段ニ依ラヌカト云フ質問ヲサレルト、司法大臣ハ普通ノ立法手段ニ依ルコトガ必要デアルト云フコトヲ云ハレツ、ソレカラ先キノコトガ違フ居ルノデスガ、伊澤君ノ普通ノ立法手段ニ依ルト云フコトハ、伊澤君ノ云ハレマス言葉ニ依ルト、普通ノ法律制定ノ手續ニ依ルベシ、其ノ暇ノナイ時ニハ、憲法八條ニ依テ緊急勅令ヲ出サルベシ、緊急勅令ヲ出スニハ樞密院ノ議ニ掛ケナケレバナラスガ、其ノ樞密院ニ御諮詢ニナルト、緊急ノ場合暇ガ取レナイケナカラ、ソレデ審議會ナルモノヲ設ケテ、其ノ方ニ掛ケルノデハナイカト云フノガ伊澤君ノ御質問ノヤウニ思フノデスガ、司法大臣ハ之ヲ左様ニ了解サレズニ、此ノ法律自體ヲ制定シテ議會ニ提出セラレル前ニ、何故樞密院ニ掛ケナカッタト云フ御質問ヲサレテ居ルト云フコトニ御意見ガ先入シテ居リマシテ、ソコデ其ノ質問ト御答辯ガ喰ヒ違フテ居ルンダラウト思ヒマス、伊澤君ソレデ間違ヒアリマセヌカ

○伊澤多喜男君 其ノ通りデス

○國務大臣(鹽野季彦君) サウ云フ點ニ付テハ先刻御答ヲシタ積リデアリマスガ實ハ緊急勅令ニ依ッテ申シマスルガ、緊急勅令

ノ場合ハ豫メ豫測セザル事情ガ發シタ場合ニ之ニ依ル、然ルニ本法ノ如ク戰時ニ於テハ大體斯様ナコトガ必要デアルト云フコトガ現在ニ於テ想定ガ出來ルノデアリマスルカラ、ソレヲ立法ヲ致スノデアリマシテ、ソレガ早クヤッテ置ク必要ト云フノハ、度々申上ゲルヤウニ、十分ニ臣民ヲシテ心構ヘヲサセ、戰時ニナレバ自分ノ持ッテ居ル工場ナリ物品ナリガ斯様ニ處置サレルベキ性質ノモノデアルト云フコトノ準備ヲモサセテ置ク、是ガ戰時ニナッテ突然法規ガ出テ、サウシテ臣民ヲ動カスト云フノヨリモ、ズツト全國力ヲ正シク使ッテ、其ノ國力ヲ十分ニ發揮サセルト云フ爲ニハ、本法ノヤウニ豫メ法規ヲ拵ヘテ置クト云フコトガ必要デアール、大變諱ク申上ゲマシタガ、要スルニ緊急勅令ノ時ハ、マダドウ云フ事項カト云フコトガ分ラナイ、分ラナイカラ其ノ時ニナッテ緊急已ムヲ得ズ法律ニ代ル勅令ヲ出ス、斯ウ云フコトニナリマスガ、只今ノ所デハ總動員ナルモノノ大綱ト云フモノハチャント想定ガ出來テ居ル、出來ルカラ茲ニ各本條ニ必要ナル程度ノ義務ヲ規定スル、サウシテサウ云フコトヲシテ置クコトガ總動員ノ實行ノ上ニ非常ニ效果ノアルコトデアル、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○伊澤多喜男君 ドウモ甚ダ困リマス、少シモ分リマセヌ、分リマセヌカラシテ別ノ方カラ伺ヒマセウ、何モ分リマセヌ實ハ私ハ……兎ニ角總動員法ノ何ト云ヒマスカ、全貌ト云ヒマスカガ分ッテ居ルノダト、分ッテ居ルカラシテ茲ニズツト五十條ヲ書イテアルノダト、斯ウ云フヤウナ只今御説明デアリマシタガ、サウシテ屢々政府ガ云ハレルコトハ、要スルニ此ノ總動員法案ニ依ッテ國民ノ權利ヲ兎ニ角制限スル所ノ限界ヲ之デ示スノダト云フコトヲ度々言ッテ居ラレマス、只今ノ鹽野國務大臣ノ御説明モ、ドウモサウラシク聞エルノデス、甚ダハッキリシマセヌケレドモ、サウラシク聞エマス、一體限界ト云フモノハ、百アルモノノ中ノ百分ノ六十迄ハ兎ニ角行政權ニ委ネル、アトハ矢張り百分ノ四十ト云フモノハ其ノ儘殘シテ置クト云フコトデアレバ、ソレハ誠ニ限界ト云フモノハ能ク分リマス、處ガ例ヘバ第二條、第二條ニモ今ノ通りズツト何カ列記シテ居ル、サウシテ其ノ他「前各號ニ掲グルモノヲ除クノ外勅令ヲ以テ指定スル國家總動員上必要ナル物資」ト書イテ居ル、詰リ國家總動員法上必要ダト政府ガ認メサヘスレバ全部ノ何デモ皆持ッテ行ク、是ハドウシテ限界ニナリマスカ、第三條又然リデ

ス、第三條モ「前各號ニ掲グルモノヲ除クノ外勅令ヲ以テ指定スル國家總動員上必要ナル業務」ト、斯ウ云フヤウニ政府ガ國家總動員法上必要ダト云フ風ニ認定サヘスレバ、全部兎ニ角入ルデヤアリマセヌカ、是ガドウシテ限界ト云フ風ニ言ハレマスカ、ソレカラ第四條、第四條ハ先刻カラシテ大分議論ガアリマスケレドモ、第四條ニハ兎ニ角例示モ何モナイ、例示モ何モナクテ兎ニ角「國家總動員上必要アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ帝國臣民ヲ徵用シテ總動員業務ニ從事セシムルコトヲ得」ト斯ウ書イテアル、之ヲ兎ニ角十二分ニ若シクハ十分、十分ト云フ方ガ宜イデセウ、之ヲ十分ニ御使ヒニナル、年齡ノ制限モ要ラヌシ、男女ノ區別モ要リヤシナイ、極端ニ云ヘバ生レタ子供デモ引ッ張ッテ來ル、極端ニ云ヘバ……ソナコトハ無論スマイト思ヒマス、又ソナコトヲヤル筈モナイガ極端ニ云ヘバ、帝國臣民ナラバ何等ノ條件モナイ、誰デモ行ッテ引ッ張ッテ總動員業務ニ從事サセル、是ハ私人カラ聞イタンデ本當カドウカ知リマセヌガ、「ドイッ」ガヤツタ方法デアリマス、一番先ヘ引ッ張ッテ行ッタノハ貴族ト反對黨ダト云フコトヲ私ハ聞イテ居リマスガ、是ハハ惡用スレバサウ云フコトガ出來マス、一體

何ガ限界デスカ、限界々々ト仰シヤルケレドモ、限界モ何モ示サレテ居ラヌデヤナイカ、デ先達テカラ質問應答ヲ聞イテ居ルト云フト、何ヤラ既ニ此ノ法律ガ定ッテ居テ、定ッテ居ル中ヘ持ッテ行ッテカラニ、勅令ヲ出シテ制限ヲスルノデアルカラシテ、ドンナ勅令ガ出ヨウガ此ノ定ッテ居ル範圍以外ニハ出デナイカラシテ、安心セイト云フコトヲ、何カ質問應答デヤッテ居ラレタ、私ハ實ニ驚キ入ルソナコトハアリヤシナイ、此ノ法律ハ、此ノ法案ト云フモノハ、大體殆ド四本柱デモ何デモナイ、一ツノ總動員計畫ト云フモノヲ頭ニ描イテ、ソレヲ羅列シテ愈々動ク、動ク時ニハ勅令ガ出テ初メテ動ク、是ハ今所謂睡眠状態ニ大體ハ居ル、ソレダカラ此ノ新ラシク出來ル、所謂勅令ノ定ムル所ニ依ッテダ、是デ我々共ハ自分共ノ安心スルヤウニシタイ、斯ウ考ヘテ居ル、ダカラ私ノ聽ク所ハドウ云フ所カト言ヘバ、要スルニソナ方法ヲ取ラズ、當リ前ノ立法手續ヲ取ルノガ當然デヤナイカ、殆ド我々ノ持ッテ居ル生命、財産、自由、兎ニ角殆ド全部ヲ奪フ積リ、奪フト云フ言葉ガ惡ケレバ行政權ニ委ネルト云フコトデヤナイカ、サウ云フコトヲヤルニハ何處迄モ普通ノ立法手續ニ依ルベキモノダト云フコトヲ、先

程カラ兎ニ角松村君モ頻リニ塚本君モ言ッタノデスガ、ソレニ對シテチットモ御答ガナイ、ソレデ私ハ今言ッタイヤウニ他ノ方面カラ伺フ、普通ノ何故立法手續デ、帝國議會ニ掛ケル違ガナカタラ樞密院ニ掛ケルト云フコトガ、何故出來ナイカト云フコトヲ私ハ伺ッテ居ル、ソコデモウ少シ私ハ突進シテ政府デ仰シヤライカモ知レナイケレドモ、忙ガシイカラ急ヲ要スルカラ、所謂戰爭ガ千變萬化スルノデアルカラシテ、其ノ時ニハナカ／＼サウ云フ暇ガナイ、斯ウ云フ御心持ダラウト思フガ、若シソレナラバナゼ一體樞密院ニ掛ケルコトガ出來ナクテ、審議會ニハ掛ケルコトガ出來ルノダト云フコトヲ、私ハ極ク通俗ニ分ルヤウナ、自分デヤサウ云フ人間デ、通俗ニ分ルヤウニ質問ヲ出シタノデアリマス、處ガ御答ヲ下サライ、御答ハ出來ナイノデアリマスカ

○國務大臣(鹽野季彦君) 本法第二條、第三條ニ於キマシテ掲ゲデアリマス項目、第一カラ八號迄ノ分ハ、種類ガチャント決ッテ居ル、然ルニ九號ニ至ッテ、前號ニ掲グルモノノ外勅令ノ定ムル國家總動員上必要ナル物資若シクハ業務、斯ウナッテ居ルカラシテ、之ニ何デモ入ルデハナイカト云フ御話デアリマス、尤モ文字ヲ其ノ儘其ノ通りニ書イテ

アルノデアリマス、併シナガラ一號カラ八號迄デ何レモ足リルトサウ考ヘテ居ルノデアルケレドモ、萬一戰爭ノ推移ニ依リマシテ、其ノ他ノモノデモ總動員上必要ナル物資若シクハ業務ガ出テ來ルカモ知レヌ、サウ云フ萬一ノ場合ノ補ヒノ規定ニ過ギナイノデアリマシテ、斯様ナ規定ヲ設クルコトハ、本法ニ始ツタコトデハゴザイマセヌ、既ニ軍需工業動員法ニモ同様ナ規定ガアリマス、是ハ萬々一ノ漏脱ヲ防グ一ツノ方法トシテ、通常見受ケル所ノ立法ノ方法デアリマス、必ズ之ニ依ッテ何デモヤルト斯ウ云フ趣意デハナク、其ノ目的ハ國家總動員ニ必要ナリト云フモノヲ既ニ一カラ八迄掲ゲテ居ル、或ハ事情ニ依リ其ノ他ノ必要ガ生ズレバ、尙ソレヲモ總動員ノ物資ナリ業務ナリトスルト云フニ過ギナイノデアリマスカラ、全部ガ全部、物資並ニ業務ナルモノガ總テ拘束ヲ受ケルト、斯ウ云フ建前デハナイノデアリマス、尙各條ニ於キマスル義務ハ、明確ニ書イテハアリマスルケレドモ、併シ廣ク抽象的ナモノデアリマスルカラ、臣民ト申シテモ、御説ノ通り、年齢、性別其ノ他總テヲ網羅スルコトニナリマス、之ヲ實施スル場合ニハ免除スベキモノ、又其ノ戰爭ノ必要ニ應ジテ相當ノ年齢ヲ制限シ

テ、必要ノ程度ニ止メルト云フヤウナコトニ付キマシテ、勅令ニ之ヲ委任スル、各條何レモ左様ナ趣旨デアルノデアリマス、又戰時デ忙シクナッテ、諮問機關ニ諮問スル暇ガアルノニ、何故樞密院ニ掛ケヌカト云フ御尋ヲ再々受ケルノデアリマス、本法ハ性質上樞密院ニ掛ケル必要ハナイト考ヘテ居リマスシ、諮問機關ニ對シテハ、必要ニ應ジテ諮問ヲスルト云フ程度ノモノデアリマス

○伊澤多喜男君 甚ダ私ハ鹽野國務大臣ノ御答辯ニ對シテ満足スルコトガ出來ナイト云フコトヲ遺憾ニ存ジマス、同ジコトヲ言ッテ居ラレテ、少シモ私ノ問ニ答ヘルコトヲ申サレマセヌカラシテ、私ハ是カラ先ハ成ルベクナラバ鹽野國務大臣カラ御答辯ヲ願ヒタクナイト思ヒマス、總理大臣ガ御出席ニナリマシタカラ、總理大臣ニ伺ヒタイト思ヒマス、繰返シテ申シマスガ、斯クノ如キ廣汎ナル委任命令ニ依ラナケレバ此ノ總動員法ト云フモノハ運用スルノニドウシテモイケン、普通立法手續ニ於テハ出來ナイ、出來ズニ、斯ウ云フ所謂委任命令ノ形式ヲ御採リニナッタト、斯ウ云フコトハドウ云フコトデゴザイマスカ、先ヅ之ヲ總理大臣カラ伺ヒタイ

○國務大臣(公爵近衛文麿君) 其ノ點ニ付

キマシテハ、既ニ屢、申上ゲタト存ジマスガ、要スルニ戰爭ノ規模ノ大小、相手國ノ如何等ニ依リマシテ、豫メ之ヲ具體的ニ法律ノ規定ヲ以テ規定シテ置クト云フコトハ困難デアリマスノデ、其ノ時ノ情況ニ依リマシテ迅速ニ且適切ナ措置ヲ講ズルガ爲ニハ、ドウシテモ其ノ時ノ事情ニ即應シタル委任勅令ニ依リマシテ其ノ措置ヲ講ジナケレバナラヌト云フ考デアリマス

○伊澤多喜男君 迅速ニ所謂戰爭ノ情況ニ即應スルト云フコトガ御趣旨ノヤウデアリマス、ソレデ私ハ其ノ爲ニ世ノ中デ謂フ所ノ白紙委任狀ヲ取ツテ御置キニナラナケレバ、迅速ニ事ヲ運シテ行クノ懸念ガアルト云フ御心持カト思ヒマスガ、私ハ自分ノ經驗ト云ヒマスガ、二十八年ノ所謂日清戰爭、日露戰爭、世界戰爭ナドノ場合ニ於テ、何レモ銃後ノ勤メヲシテ來タノデアリマシガ、此ノ場合ニ、詰リ例ヘバ、帝國議會ガ日露戰爭ノ場合ニドウ云フ態度ヲ執ツタカ、ドウ云フコトカト云ヘバ、時ノ政府ニ反對シテ、サウシテ解散、サウシテ大多數ノ反對黨ガ出テ來タト云フ場合デアルケレドモ、兎ニ角臨時議會ヲ召集サレテ、直チニ非常ニ大キナ、其ノ當時ニ於テハ非常ニ大キナ

豫算ヲ決議シテ、何等支障ヲ與ヘタコトハアリマセヌ、日露戰爭、世界戰爭ノ場合亦然リ、日本國民ハ私ハ白紙委任狀ヲ取ツテ置

カナケレバアブナイト云フヤウナ國民トハ思ッテ居リマセヌ、ソレカラシテ日本國民、モウ少シ言ヘバ帝國議會ト云フモノハ、左様ナ不信ナコトヲ過去ニ於テ致シタコトハゴザリマセヌ、過去ニ於テハサウ云フコトハナイケレドモ、將來ニ於テアルト仰シヤルナラバ、ソレハ私ハ非常ナ考慮ヒダト思フ、私ハ將來ノ日本國民、將來ノ帝國議會ハ左様ナコトハナイト確信シテ居ル、ソレカラ次ニ、帝國議會ヲ召集スル追ガナイト云フ時ニ樞密院ニ御諮詢ヲ奏請サレル、其ノ時ニ樞密院ガ過去ニ於テ何カ左様ナ場合ニ妨ゲタ例ガアルカ、左様ナ例ハアリマセヌ、樞密院ハ常ニ急ヲ要スル場合ニハ常ニ之ニ即應シテ、サウシテ私ハ是ハ大變ニ好イ例トハ思ッテ居リマセヌ、寧ロ惡例ダト思ヒマス、惡例ト思ヒマスケレドモ、兎ニ角大正十二年ノ大震災當時ノ九月二日ノ勅令三百九十八號ト云フモノハ是ハ樞密院ノ諮詢ヲ經テト云フ文句ハアリマセヌ、アリマセヌガ、是ハ緊急勅令デアリマス、ドウシテカト云フト、其ノ時ノ解釋ニ依レバ兎ニ角不可能デアル、不可能ヲ兎ニ角憲法ハ強ヒヤ

シナイト云フノデ、樞密院ノ樞密院顧問ノ諮詢ヲ經ズニ、兎ニ角勅令三百九十八號ト云フモノヲ出シタノデアリマス、ソレカラ

三百九十六號及ビ三百九十八號、是ハ共ニ九月二日ニ出タノデアリマスガ、サウ云フ惡例デアリマスケレドモ、ソレニ對シテナンニモ日本國民ハ言ッテナイシ、樞密院モ何モ言ッテ居リマセヌ、ソレ程兎ニ角緊急ノ場合ニ對シテハ樞密院ハ何モ言ハズニ國家ノ大事ニ向ッテハ即應スルノデアリマス、サウ云フ風デアリマスルカラ、普通ノ立法手續ヲ執ッテ何等今ノ總理大臣ノ言ハレルヤウナ御心配ハアリマセヌト私ハ信ジテ居リマス、私共ニハドウシテモ何故斯ウ云フ普通ノ立法手續ニ依ラズニ非常ニ廣汎ナ我々共ノ憲法ニ保障サレテ居ル所ノ權力ヲ殆ド大部分、全部ニ近イモノ、之ヲ兎ニ角行政ニ委ネラレルト云フヤウナコトヲナサルノデアリカ、ソレガ私共ニハ實ハ分ライノデアリマス、私ハ始終サウ思ッテ居ルノデアリマス、國民ガ政府ヲ信ズルヤ否ヤ、サウシテ政府ガ國民ヲ信ズルヤ否ヤト云フコトニ依ッテ大體ノ此ノ政治ハ行ハレテ來ル、先刻來鹽野司法大臣及政府委員カラシテ度々例ヲ出サレマシタ軍需工業動員法其ノ他ノモノニ付テ考ヘマシテモ、要スルニ是ハ此ノ

總動員法トハマルッキリ比較ニモナンニモナラナイモノデアリマス、比較ニモナラナイ、誠ニ些々タルモノデアアル、デアアルガ、

兎ニ角何故ニ斯ウ云フ委任立法ヲ我々が認メタカト言ヘバ、其ノ時ノ國家ノ狀況、其ノ當時ハ此處ニ居ラレル大島健一君ガ陸軍大臣デアッタト思ヒマス、其ノ時代ノ國家ノ情勢ト云フモノハ、ソレカラ其ノ時代ノ政府ノ信用ト云フモノハ兎ニ角是程ノモノヲ政府ニ委ネテ何等差支ナイ、斯ウ云フ心持デアッタ、私共今デモサウ思ッテ居リマス、唯衆議院等デ之ヲ非常ニ大キナ問題ニシテ騒イデ居ル、我々モ亦矢張り非常ニ大キナ問題トシテ考ヘテ居リマス、ソレハ何故カト言ヘバ、大體今ノ國家ノ大體ノ動キト云フモノガ我々ニハ非常ニ心配ナノデス、モウ少シ之ヲ簡潔ニ言ヒマスレバ、所謂獨裁政治ノ流レガ此ノ數年來非常ニ強イノデアリマス、ソレデ其ノコトハ要スルニ國民全體ヲ刺戟スル所以ダト私ハ思ッテ居リマス、デアリマスルカラシテ私ハ總理大臣ニ伺フコトハ、私ハ度々述べベルノデアリマスガ、私ハ此ノ國家總動員法ノ成リ立ツト云フコトハ熱心ニ希望シテ居リマス、事柄自身ニ付テハ熱心ニ希望シテ居リマス、サリナガラ斯様ナ方法ニ依ッテ兎ニ角或意味カラ無

理ヤリニ御取上ゲニナルト云フコトハ果シテソレガ宜イコトデアルカドウカ、サリナガラ是非之ヲヤラナクチャナラスト言フナラバ、モット我々共ニ能ク分ルヤウニ十分ニ我々共ガ首肯スルヤウニ御話ガ願ヒタイ、私ハ少シ不満ヲ感ジテ居リマス、ドウ云フコトカト言ヘバ、私ハ總理大臣モ言ハレル通り、此ノ法案ト云フモノハ古今未曾有ノ非常ニ重要ナ容易ナラザル、殆ド將來アルマイト思フ位ノ重要法案デアリマス、其ノ時ニ此ノ法案ヲ御出シニナツテ、サウシテ之ニ對スル理由書ハ三行カ四行デアリマス、サウシテ衆議院デ總理大臣ノ代理トシテ廣田外務大臣ガ説明サレタ私ハ現ニ聽イテ居リマシタガ、僅カニ三分カ二分デアリマス、サウ云フ態度デ一體此ノ法案ヲ國民ニ一體唯吞メト言ツテモサウ云フコトガ出來マスカ、私ハ何モ「ドイツ」カブレラスル譯デモナンデモナイガ、兎ニ角是程ノモノヲ行政權ニ委ネルト云フ時ニハ、少クトモ三時間ヤ五時間ハ國民ニ判ルヤウニ、モウ少シ言フナラバモット早目ニ國家ノ情勢ガドウ云フ風ニナツテ居ルト云フコトヲ丁度「ヒットラー」ガ長イ間國民ニ向ッテ懇ヘテ居ルヤウナ態度デオヤリニナルノガ私ハ當然ダト思フ、私ハ今カラシテ不満ヲ申上ゲテモ致シ

方アリマセヌガ、私ハ何ヲ不満ニ思ツテ居ルカト言フト、モット我々共ガ首肯スルヤウニ總テ出來ル限リ打開ケテ御話ヲ願ヒタイ、尙私ハ私ノ心持ヲ申述ベマスレバ、一體今日ハ所謂國內的ニ言ツテモ、國際的ニ言ツテモ非常ナ重大ナ時機デアリマス、デアリマスカラシテ、政府トシテハ國民ト共ニ兎ニ角此ノ非常時ヲ切抜ケテ行クト云フコトヲ爲サルノガ當リ前ト思フ、處ガドウカト云フト先ヅ私ニ言ハスルナラバ、成ルベク國民ニハ何モ知ラサヌヤウニシヨウ、國內的ニモ、國際的ニモ……ソレデハ我々ハ一體ドウシテ此ノ日本ノ國內的ノ事情ナリ、國際的ノ事情ヲ知ルコトガ出來マスカ、私ハ何時ノ機會ニモ、何カ集會ノアル時ニハ常ニ言ツテ居ル、モット我々日本國民ハモウ少シ雄大ナ寛宏ナル態度ヲ以テ總テノ事ニ臨ミタイモノダト云フコトヲ私ハ常ニ言ウテ居ルノデアリマス、國民ヲ信ズル、サウシテ餘リ神經的ニナラズニ兎ニ角雄大ニ、サウシテ例ヘバ内政問題ニ付テ考ヘテ見マシテモ、或ハ教育問題ニ付テ考ヘテ見マシテモ、兎ニ角新聞ナドハ所謂掲載禁止事項ト云フモノガ最近ニナツテカラ非常ナモノデス、我々ハ新聞ヲ、私ガ四種類取ツテ居リマスケレドモ、之ヲ私ハ見ルノデスガ、何モ

四種類モ取ツテ居ルケレドモ之ヲ四ツトモ讀ム必要ハナイ、一ツノ新聞ヲ讀ムト後ハ殆ド全部同ジ記事デアル、所謂特種ト云フヤウナモノハ殆ドナイ、政治トカ經濟ニ關シテ……其處デドウスルカト云フコト、新聞ヲ四種類ナリ取ツテドウスルカト云フト後ハ小説ヲ讀ンデ居ル、併シ小説ダケハ變ッテ居ル、新聞ト云フヤウナモノハ完全ニ「コントロール」サレテ居ル、殆ド官制新聞ト云フヤウナ氣持ガスルノデアリマス、マア私ガ今質問致シテ居リマスル心持ハサウ云フコトデゴザイマスルカラシテ、ドウゾ我々が誠ニ御尤ダト云ツテ此ノ法案ヲ御贊成申上ゲルコトガ出來マスヤウニ出來ル限リ詳シク御話ヲ願ヒタイト思ヒマス

○男爵紀俊秀君 總理大臣ニ對シマシテ私御伺ヒシタイノデスガ、マダ何カアルノデスカ

○委員長(子爵渡邊千冬君) 暫ク御待チ下サイ、伊澤君ノ御質問ノ要點ダケ、モウ一應御述ヲ願フコトハ出來マセヌカ

○伊澤多喜男君 要スルニ此ノ總動員法案ヲ御出シニナツタ、今迄兎ニ角説明ハ伺ッテ居リマス、伺ッテ居リマスルガ、我々共首肯スルヤウナ風ニモット御話ハ出來マセヌカト云フコトデス、簡單ニ申セバ……

○國務大臣(公爵近衛文麿君) 今日迄御説明ヲ色々致シマシタコトニ對シテ、十分ニマダ御納得ガ出來ナイト云フコトハ誠ニ遺憾デアリマス、政府ト致シマシテハ大體今日迄御説明ヲ申上ゲタコト以上ニ特ニ申上ゲルコトハナイノデアリマスガ、尙今後此ノ審議ノ進ムニ連レマシテ色々御質問ガアリ、又之ニ對シテ應答ヲ致シテ參リマス間ニハ自ラ御了解ガ付クコトト考ヘマス

○伊澤多喜男君 總理大臣ノ御答ハ御言葉ダケハ分リマシタ、唯申上ゲテ置キタイコトハ、我々ハ衆議院ノ委員會其ノ外ニ於テ總理大臣ナリ國務大臣ガ御説明ニナリマシタコトハ、何ト言ヒマスカ存ジマセヌ、デ今日迄説明シテ居ラレマスルコトハ無論貴族院本會議、委員會ニ於テ御説明ニナツタコトト存ジマスルガ、其ノ外ニ我々ニ納得行クヤウニ御話シ下サルコトハ出來ナイト了承致ス外ハナイト思ヒマス、左様デ宜シウゴザイマスカ

○國務大臣(公爵近衛文麿君) 貴族院ニ於キマシテモ相當ニ政府ノ意ノアル所ハ盡シタ積リデアリマス

○伊澤多喜男君 失禮デゴザイマスケレドモ總理大臣ハ此ノ委任會ノ經緯ヲ十分ニ御承知ハナイノデヤナイカト思ヒマス、ドウ

云フコトカト言ヘバ兎ニ角最初ノ日ト次ノ日、此ノ二日間ハ何カ、我々共ニハ十分ニ了解スルコトノ出来ナイ、兎ニ角憲法論ノヤウナモノガ鹽野國務大臣ト某委員ノ間ニ交換サレマシタ、サウシテ、處ガ其ノ委員ト鹽野國務大臣トノ間ニ話サレルコトガ、我々ノ兎ニ角了解スルコトノ出来ナイコトデアリマシタカラシテ、ソレデ某委員カラシテ此ノ點ニ付テ段々ニ質問ヲ致シテ見マシタ、サウスルト云フトドウナツタカト云フト前日、前々日ニ鹽野國務大臣ハ兎ニ角サウダ、右ダト言ハレタコトハ段々質問シテ見ルト左ダト云フトコトニナル、ソレガ今日迄ノ經緯デアリマス、是ハ無論御報告ハ受ケテ居ラル、カモ知レマセヌケレドモ、大體サウ云フトデアリマス、貴族院デハ私ハマダ殆ド何事モ伺ッテ居ラス、若シ何カ伺ツタコトガアルトスレバ、所謂秘密會ト云フ所デ國家總動員ニ關スル、何ト言ヒマスカ、説明ヲ伺ヒマシタ、是モ大層秘密ガサウアリマスカラ、私ハドレ程ノ秘密ガアルカト思ッテ伺ッテ居リマシタガ、大體所謂總動員ノ教科書ニアルヤウナコトヲ御述ニナリマシタ、併シ私ハ一體サウ云フモノニ付テハ甚ダ迂闊デアリマスカラ……參考ニ勿論ナリマシタ、ナリマシタケレドモ大體ソレガ

經過デアリマス、今日迄マダ衆議院デ御話ニナリマシタヤウナ、衆議院ガ何日カ知レマセヌガ、長イ間採ミニ採ンダヤウナコトニ付テハ、政府ハ御答辯ニナツタコトニ付テハ一向我々共伺ッテ居リマセヌ

○委員長(子爵渡邊千冬君) 伊澤君ノ御質問ハ終了シマシタカ

○伊澤多喜男君 終了シマシタ

○委員長(子爵渡邊千冬君) 紀男爵

○男爵紀俊秀君 總理大臣ハ大層御忙シイヤウデアリマスカラ私ハ率直ニ伺ヒタイト

思ヒマス、或ハ失禮ナコトヲ申上ゲルカモ知レマセヌガドウカ御許ヲ願ヒタイト思ヒマス、政府ガ度々御説明ニナリマシタ通り、又私共モ感ジテ居リマスル通りニ、此ノ法案ハ只今伊澤君ガ仰セラレマシタ通りニ實ニ古今未曾有ノ大法案デアルト存ジマス、殊ニ總理大臣ノ御説明ニ依リマスルト、餘程前カラ御準備ニナリ御研究ニナツテ、サウシテ御提案ニナツタノデアアル、山岡サンデアリマシタカノ御質問ニ對シテモ、ソレダケ長イ間研究シタノデアアルケレドモ法案ノ重大サニ考ヘテ慎重ニ、慎重ニ研究シタガ爲ニ、二月ニ入ッテカラ提案ノ已ムヲ得ザルニ至ッタンデアルト云フ御説明ヲ承ッタンデアリマス、然ルニ一度此ノ法案ガ出マシ

テカラ、所謂古今未曾有ノ大法案デアリマスル爲ニ、國民モ之ニ對シテ色々臆測ヲ加ヘマスルシ、想像ヲ逞シウ致シマシテ、此ノ法案ノ性質等ニ付テモ、相當不安ノ念ヲ懷イテ居ッタヤウデアリマス、殊ニ衆議院ノ方ヘ提案サレマシテカラ以來、衆議院ノ方デ特別委員會ヲ開カレルコトガ確カ十四回開カレマシタヤウニ存ジマスノデアリマスルガ、甚ダ失禮ナコトヲ申スヤウデアリマスルガ、其ノ間十分ニ衆議院ノ委員會デ納得スルダケノ御説明ガアツタドウカト云フコトヲ疑フノデアリマス、併シナガラ委員會ガ通過シ、衆議院ヲ通過致シマシタガ、其ノ間了解ヲ得ラレタヤウデアリマスケレドモ、私共マダ速記録等ヲ拜見致シマシテ、實ハ十分ニ納得シ得ラレナイ、就キマシテハ國民ガ果シテ衆議院ニ於テノ應答ニ依ッテ、十分ニ了解シタカドウカト云フコトヲ疑ッテ居ルノデアリマス、併シ本院ノ方ヘ廻付セラレマシテ以來ハ、必ズ此處デ明快ナル御答辯ガアツテ、我々ヲ首肯セシメ得ラレルダケノ御説明ガ實ハアルモノト期待シテ居ッタンデアリマス、處ガ甚ダ失禮ナコトヲ申スヤウデアリマスガ、本會議ニ於テノ司法大臣ノ御答辯ノ中デモ、既ニ其ノ時デモ御訂正ヲ爲サルト云フヤウナコトニ相成ッ

タヤウニ承知致シテ居リマスノデ、又本委員會ガ開會セラレマシテ以來、只今伊澤君ノ仰セラレマシタ通りニ、度々委員ト國務大臣ノ間ニ質問應答ヲ重ネラレマシタガ、其ノ間ニ於キマシテ、國務大臣ノ御自分ノ仰セラレマシタコトニ付テ御訂正ニナルコトガ數回、私共承知致シマシタ、或ハ午前ニ仰セラレタコトガ午後ニ訂正セラレ、昨日仰セラレタコトガ今日訂正セラレ、甚ダ是亦失禮ナコトヲ申上ゲルヤウデアリマスガ、時トシテハ委員長ノ御介添ニ依ッテ其ノ意味ヲ確カメタト云フヤウナコトモアルノデアリマス、サウ致シマス、ト餘程年月ヲ御カケニナツテ、十分慎重ニ此ノ問題ヲ御調ニナツタト仰セラレマスルガ、殆ド此ノ問題ニ對シテ專門ニ御研究ニナリ、又殆ド此ノ問題ニ對シテハ御一人デ御説明ニナル所ノ專門的ノ國務大臣ガ、朝タニ於テ御答ガ異ッテ居ルト云フヤウナコトヲ拜見致シマシタナレバ、ドウモ是ダケデハドウシテモ國民ニ對シテ了解セシメル途ガナカラウト思フ、甚ダ失禮ナコトヲ申シマスケレドモ、此處ニ列席シテ居リマスル諸君ガ相當御分リニナラナイ位デアリマスカラ、外ニ居リマスル國民ハドレダケ是デ了解シ得ラル、カト云フコトハ、私疑問

ダト思フ、併シナガラ總理大臣ノ御答ニ依リマスルト、此ノ法案ハ確タル信念ノ下ニ長日月此ノ問題ヲ研究シタ曉ニ、慎重ニ慎重ヲ期シテヤッタシタダト云フ御答デアリマススケレドモ、衆議院ニ於ケル狀態、貴族院ノ委員會ノ此ノ情況ヲ見マシテハ、ドウモ是ダケデハ十分ニ確信ヲ得ラレルダケノ私共信念ヲ懷クコトガ出來ナイノデアリマス、ソレデ私ハ違ッタ角度カラ一ツ伺ヒタインデアリマスガ、此ノ法律案ハ假ニ茲デ成立致シマシテモ、或時期ダケ此ノ法律案ヲ行フノデアアル、サウシテ或時期ガ來マシテ更ニ必要ガアリマシタラ、其ノ時ノ情態ニ依ッテ之ヲ繼續スルト云フヤウニ相成リマシテモ宜シウゴザイマスガ、或期間ダケヲ限ッテヤルト云フヤウナコトニ對シテ、政府ハドウ考ヘテイラッシャイマセウカ、或ハ一年トカ二年トカ三年トカ五年トカ云フヤウナ期間ダケ之ヲ行フノデアアル、併シナガラ其ノ期間ガ過ギル迄ニハ、若シ之ヲ續ケテ行ク必要アリトスレバソレ迄ニ十分研究シテ、サウシテ此處デ問題ニナツタヤウナコト、政府委員或ハ國務大臣ノ色々御説明ニナツタ意思ノ疏通ヲ缺イテ居リマスヤウナ點等ニ付キマシテ十分御研究ニナツテ、サウシテ更ニ之ヲ繼續スル時ニ之ヲ改訂スルン

ダト云フヤウニ致シマスレバ、マア是ハ或一時ノ暫定法デアルト云フヤウニ考ヘサスト云フコトハ又餘程不安ヲ少クセシメル本デハナイカト思フ、總理大臣ハ此ノ席ニ盡ク御出席ニ相成ッテ居リマセヌデシタカラ御承知モゴザイマセヌガ、數日來ノ質問應答ニ依リマシテハドウシテモ私モ十分了解シ得ラレナイノデス、殊ニ先刻モ申シマシタヤウニ、午後ニ仰セラレタコトガ午後直グニ訂正セラレルト云フヤウナコトニ相成ッテ居リマスノデ、サウ云フヤウナ點ニ鑑ミマシテ、只今申上ゲマシタ之ヲ暫定的ノ法律ニスルト云フコトニ付キマシテノ御意思ノアル所ヲ拜聽致シタイノデアリマス

○國務大臣(公爵近衛文麿君) 只今紀男爵ノ御尋ハ、此ノ法案ガ相當ニ世間ノ不安ヲ起ス原因ニナルト云フコトガアルニ依ッテ、或時期ヲ限ッテ之ヲ行フト云フコトニシテハドウカ、サウ云フ政府ノ意向ハナイカト云フ御尋ト存ジマス、政府ト致シマシテハ之ヲ暫定法トシテ或期限ヲ切リマシテ行フ考ハナイノデアリマス、勿論將來情勢ノ變化ニ依リマシテ此ノ法律ニ改正ヲ加ヘルト云フコトハアリ得ルト思ヒマススケレドモ、最初ヨリ斯クノ如キ意圖ハ持ッテ居リマセヌ

○男爵紀俊秀君 是以上ハ意見ニ互リマスカラ申上ゲマセヌ、モウ一箇條質問致シタイト存ジマスノハ……、續イテ申上ゲテ宜シウゴザイマスカ

○委員長(子爵渡邊千冬君) 宜シウゴザイマス

○男爵紀俊秀君 過日ニ荒伯爵ガ陸軍大臣ニ對シテ御尋ニナリマシタノニ、今後相當思想ノ上ニ於テ變遷ハアリヤシナイカ、又將來ノ戰爭ニ關シテ青少年ヲシテ軍事教育ヲサス必要ガナカラウカト云フ御質問ガアリマシタノデアリマス、當時陸軍大臣ノ御答辯ハ二荒伯爵ノ御尋ト全ク違ッタ方向ノ御説明ガアリマシタノデアリマスガ、私モ此ノ點ニ付キマシテ幸ヒ教育審議會ニ對シテ御諮問ニナリ、又之ヲ監督セラレル任ニ當ッテイラッシャル總理大臣ガイラッシャルノデアリマスカラ、此ノ問題ニ付キマシテハ特ニ總理大臣ノ御考ヲ伺ッテ見タイト存ジマスノデアリマス、國家總動員法案ニ於キマシテハ、御説明ノアリマシタ通りニ、人的、物的ノ兩方面カラ動員スルモノデアルト云フ御説明デアリマスルシ、又法文ニモ其ノ意味ノコトヲ書イテ居リマス、併シナガラ概シテ拜見ヲ致シマスルト、殆ド物品ノコトニ關係シタコトデアルヤウニ存ジ

マスノデアリマス、恐ラク人的ノ方ニ對シマシテハ、國民精神總動員ト云フモノガアルカラ、其ノ方デ強調シテ行クノダ、人的ノコトハ之ヲ法文化スルヨリハ寧ロサウ云フヤウナ方法デヤッタ方ガ宜カラウト云フヤウナ御趣意デアラウト存ジマスノデアリマスガ、私共モ其ノ方法ハ誠ニ結構ナコトダト思フノデアリマススケレドモ、本院ノ豫算ノ三分科會デアリマシタカニモ相當議論ガアリマシタ通りニ、國民精神總動員ト云フコトニ付テノ徹底ハ甚ダ遺憾ノ節ガ多イヤウニ存ジマシテ、果シテ國民精神ノ總動員ガ出來テ居ルカドウデアルカト云フコトニ付テハ、相當私疑問ヲ持ッテ居ルノデアリマス、殊ニ教育ノ方面ニ付キマシテハ、現在ノ情態ニ鑑ミマシテ十分改革ヲシ、又速カニ適當ノ處置ヲ講ジナケレバナラスコトガ澤山アルダラウト思フ、此ノ方面ニ於キマシテハ無論教育審議會等ニ御相談ニナツテ、サウシテ教育審議會ヲ經テ成ルベク速カニ此ノ事ヲ適當ニ御處理ヲ爲サルト云フ御趣意デアラウト存ジマスノデアリマススケレドモ、是ハドウモ私共考ヘマスノニ國家總動員ヲ爲サル上カラハ、一日モ緩ウスベカラザルコトデハナイカ、過日ノ陸軍大臣ノ御話ニ依リマス、先ヅ只

今デハ教育ノ方針等ニ付テ餘リ改革スルト云フヤウナコトヲ考ヘテ居ナイ、一般ノ國民ノ教育ニ付テハ教育勅語、軍人ニ對シテハ軍人ニ賜タル勅語ヲ奉戴シテヤッテ行クノダカラ、先ヅ只今ノ所ハ教育ニ對シテ改革スルノ意思無シト云フヤウナ御意見ヲ御持チニナリマシタケレドモ、是ハ私共カラ考ヘマス、一日モ緩ウスルコトハ出來ナイ、殊ニ國家總動員ヲ致シマス云フコトニナリマスレバ、物ヨリハ、金ヨリハ、ソレヲ扱ヒマス所ノ人間ノ心、人間ノ頭ト云フモノヲ十分ニシツカリサシテ置カナケレバナリマセス、先般來御話ノ中ニモ、色々委員ノ中カラモ仰シヤイマシタガ、忠君愛國ノ心ニ俟ツテ、サウシテ厲行スレバ何事モ出來ル、斯ウ云フ御話モアリマシタガ、私共モソレハ其ノ通りニ信ジマスケレドモ、唯如何セム、一部ニ於キマシテハ此ノ非常時ニ於テ相當弛緩シタ情態ヲ呈シテ居ナイカト思フ、現ニ昨年人民戰線ニ加リマシタ者ガ相當檢舉サレマスシ、近時又青少年ノ檢舉セラレタ者ガ數日ノ間ニ七千人モアツタ、而モ其ノ七千人ノ過半數ハ學生デアルト云フヤウナ情態ヲ見マシテモ、如何ニ今日ノ教育ノ内容ニ於テ改ムベキモノガアルカト云フコトヲ考ヘマスルト、實ニ私共寒心ニ堪ヘ

ナイノデアリマス、是ハ一日モ緩ウスルコトガ出來ナイ、一方ニ忠君愛國ノ熱ニ燃エテ、是ダケノ將兵ノ奮戰、銃後ノ國民ノ義務ヲ全ウシテ居ルコトガアリマスケレドモ、一面ニ於テハ又サウ云フヤウニ、七千人モ數日ノ間ニ檢舉サレタ、又或ハ人民戰線ニ觸レル者ガアルト云フヤウナ、サウ云フヤウナ情態等ヲ考ヘマス、ドウシテモ教育ト云フモノニ對シテ十分ノコトヲ致シマセスト、一部ニ於キマシテハ如何ニ國家總動員ガ行レマシテモ、ソレガ十分ニ徹底シナイト云フ憾ガアルノデアリマス、モウ長イコトハ申シマセヌ、私モ本會議デ相當此ノ問題ニ付キマシテ申上ゲマシタカラ申上ゲマセヌガ、是等ノ點モ國民精神總動員ト、國家總動員ト教育ト云フモノト、相俟ッテ行カナケレバドウシテモナラスト思ヒマスルノデゴザイマスルガ、ソレニ對シマシテ總理大臣ハドウ御考ニナッテ居リマスカ、御所見ヲ御漏ラシ下サレバ誠ニ幸ヒト存ジマスノデアリマス

○國務大臣(公爵近衛文麿君) 國家總動員ト精神總動員ト教育、此ノ三ツハ相伴ッテ行カナケレバナラスト云フ只今ノ御説ニ對シテハ全ク御同感デアリマス

○委員長(子爵渡邊千冬君) 紀男爵ハ御質

問ハ終リマシタカ

○男爵紀俊秀君 此ノ際ハ是ダケニ致シテ置キマス

○委員長(子爵渡邊千冬君) 本日ハ此ノ程度デ散會致シマス、明日ハ午前十時カラ開會致シマス

午後四時二十七分散會

出席者左ノ如シ

委員長 子爵渡邊 千冬君
副委員長 男爵大井 成元君
委員 公爵島津 忠承君
侯爵四條 隆愛君
侯爵井上 三郎君
伯爵二荒 芳德君
子爵青木 信光君
子爵曾我 祐邦君
子爵岡部 長景君
大島 健一君
水野鍊太郎君
宇佐美勝夫君
男爵紀 俊秀君
伊澤多喜男君
塚本 清治君
山川 端夫君
白根 竹介君

男爵渡邊 汀君

黑崎 定三君

男爵伊江 朝助君

竹越與三郎君

山岡萬之助君

松村 義一君

中村圓一郎君

金杉英五郎君

山隈 康君

國務大臣

內閣總理大臣 公爵近衛 文麿君

司法大臣 鹽野 季彦君

內務大臣 末次 信正君

政府委員

法制局參事官 森山 銳一君

企畫院總裁 瀧 正雄君

企畫院次長 青木 一男君

企畫院部長 植村甲午郎君

同 横山 勇君

企畫院書記官 內田源兵衛君

外務省調查部長 米澤 菊二君

內務省警保局長 富田 健治君

陸軍中將 山脇 正隆君

司法省刑事局長 松阪 廣政君

文部政務次官 內ヶ崎作三郎君

文部參與官 池崎 忠孝君

文部省實業學務局長 小笠原豐光君

拓務參與官 伊禮 肇君

厚生省勞働局長 成田 一郎君